

KORU

HAVIAN 30

クイック・ガイド

J
OS Version 1.0
MAN0010096




安全上のご注意

ご使用になる前に必ずお読みください

ここに記載した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の方々への危害や損害を未然に防ぐためのものです。注意事項は誤った取り扱いで生じる危害や損害の大きさ、または切迫の程度によって、内容を「警告」、「注意」の2つに分けています。これらは、あなたや他の方々の安全や機器の保全に関わる重要な内容ですので、よく理解した上で必ずお守りください。

火災・感電・人身障害の危険を防止するには

図記号の例








	△記号は、注意(危険、警告を含む)を示しています。記号の中には、具体的な注意内容が描かれています。左の図は一般的な注意、警告、危険を表しています。
	⊘記号は、禁止(してはいけないこと)を示しています。記号の中には、具体的な注意内容が描かれることがあります。左の図は「分解禁止」を表しています。
	●記号は、強制(必ず行うこと)を示しています。記号の中には、具体的な注意内容が描かれることがあります。左の図は「電源プラグをコンセントから抜くこと」を表しています。







以下の指示を守ってください

デジタル・ピアノは、ご家庭の中で身近において、お子さまから専門家の方まで幅広くご愛用いただけます。デジタル・ピアノは大きくて非常に重いものです。安全に使用していただくためにも、室内での設置場所や日常の取り扱いについては、十分に注意してください。また、設置や移動の際は必ず2人で行ってください。小さなお子様がご使用になる場合は、ご家族の方が最初に教えてあげてください。

警告






この注意事項を無視した取り扱いをすると、死亡や重傷を負う可能性があります。

-  電源プラグは、必ずAC100Vの電源コンセントに差し込む。
-  電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりを拭き取る。
感電やショート恐れがあります。
-  本製品はコンセントの近くに設置し、電源プラグへ容易に手が届くようにする。
-  次のような場合には、直ちに電源を切って電源プラグをコンセントから抜く。
 - 電源コードやプラグが破損したとき
 - 異物が内部に入ったとき
 - 製品に異常や故障が生じたとき修理が必要なときは、コルグお客様相談窓口へ依頼してください。
-  本製品を分解したり改造したりしない。
-  修理、部品の交換などで、取扱説明書に書かれている以外のことは絶対にしない。
-  電源コードを無理に曲げたり、発熱する機器に近づけない。また、ACアダプターのコードの上に重いものをのせない。
コードが破損し、感電や火災の原因になります。
- 大音量や不快な程度の音量で長時間使用しない。
大音量で長時間使用すると、難聴になる可能性があります。万一、聴力低下や耳鳴りを感じたら、専門の医師に相談してください。
- 本製品に異物(燃えやすいもの、硬貨、針金など)を入れない。
- 温度が極端に高い場所(直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など)で使用や保管はしない。
- 振動の多い場所で使用や保管はしない。

-  ・ホコリの多い場所で使用や保管はしない。
-  ・風呂場、シャワー室で使用や保管はしない。
-  ・雨天時の野外のように、湿気の高い場所や水滴のかかる場所で、使用や保管はしない。
-  ・本製品の上に、花瓶のような液体が入ったものを置かない。
-  ・本製品に液体をこぼさない。
-  ・濡れた手で本製品を使用しない。

注意

この注意事項を無視した取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物理的損害が発生する可能性があります。

-  ・正常な通気が妨げられない所に設置して使用する。
-  ・ラジオ、テレビ、電子機器などから十分に離して使用する。
ラジオやテレビ等に接近して使用すると、本製品が雑音を受けて誤動作する場合があります。また、ラジオ、テレビ等に雑音が入ることがあります。
本製品の磁場によってテレビ等の故障の原因になることがあります。
- ・外装のお手入れは、乾いた柔らかい布を使って軽く拭く。
- ・ACアダプターの電源コードをコンセントから抜き差しするときは、必ずプラグを持つ。
-  ・本製品の移動時は、必ず2人以上で持ち上げる。
-  ・長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く。
-  ・付属の電源コードは他の電気機器で使用しない。
付属の電源コードは本製品専用です。他の機器では使用できません。
- ・他の電気機器の電源コードと一緒にタコ足配線をしない。
本製品の定格消費電力に合ったコンセントに接続してください。
- ・スイッチやツマミなどに必要以上の力を加えない。
故障の原因になります。
- ・外装のお手入れに、ベンジンやシンナー系の液体、コンパウンド質、強燃性のポリッシャーは使用しない。
- ・不安定な場所に置かない。
本製品が転倒してお客様がけがをしたり、本製品が破損する恐れがあります。
- ・本製品の上に乗ったり、重いものをのせたりしない。
本製品が転倒または損傷してお客様がけがをしたり、本製品が破損する恐れがあります。
- ・本製品の隙間に指などを入れない。
お客様がけがをしたり、本製品が破損する恐れがあります。
- ・地震時は本製品に近づかない。
- ・本製品に前後方向から無理な力を加えない。
本製品が転倒してお客様がけがをしたり、本製品が破損する恐れがあります。

* すべての製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。

オート・パワー・オフ機能について

本機は演奏、コントロール・パネルやタッチスクリーンの操作など全く操作しない時間が2時間経過すると、節電のため自動的に電源がオフになります。オート・パワー・オフ機能が作動するような時間放置する場合は、作成したデータ（パフォーマンス、スタイル、ソングなど）を保存してください。

LCDディスプレイについて

本製品のLCDディスプレイは、非常に高い技術で作られた精密機器であり、品質には十分に注意を払っておりますが、次の内容については、LCDディスプレイの特性から生じる状態であり、故障ではありません。あらかじめご了承ください。

- ・画面の一部に黒点(点灯しない点)や輝点(常に点灯する点)がある。
- ・表示内容によっては、画面の明るさにムラが生じる。
- ・表示内容によっては、横縞の陰が見える。
- ・表示内容によっては、ちらつきやモアレを生じる。

データについて

操作ミス等により万一異常な動作をしたときに、メモリー内容が消えてしまうことがあります。大切なデータは、あらかじめ他のメディア等へセーブしておいてください。データの消失による損害については、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

また、本製品の使用に伴い、メディアに書き込んだデータの消失、破損などの、お客様に対してなされた損害賠償請求に基づく損害については、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

演奏を楽しむためのエチケット

音楽を楽しむときには、周囲への音の配慮も大切です。演奏する時間によって、音量調節をしたり、ヘッドホンを使用しましょう。

また、ヘッドホン使用時、または小さな音量での演奏時に、鍵盤の機構上若干のメカニズム音が聞こえます。あらかじめご了承ください。

目次

パート I	3	はじめに
	4	イントロダクション
	4	HAVIAN 30へようこそ
	7	演奏を始める前に
	8	各部の名称と機能
	13	アクセサリーの使用方法
	13	ダンパー・ペダルを使う
	13	ヘッドホンを使う
	13	譜面立ての取り付け
	14	電源
	14	電源をオンにする
	15	画面のキャリブレーション
	16	デモ・ソングを聞く
	17	インターフェイスの基本
	17	メイン・ページ
	18	ページの操作
	21	ミュージカル・リソースの選択
パート II	25	演奏
	26	イージー・モード
	26	イージー・モードのオン、オフ
	27	スタイル・プレイ・イージー・モード画面
	29	ソング・プレイ・イージー・モード画面
	31	サウンドの演奏
	31	グランド・ピアノの演奏
	31	演奏するサウンドの選択
	36	サウンドのカスタマイズ
	36	右手と左手で異なるサウンドの演奏
	38	同時に複数サウンドの演奏
	39	サウンドのオクターブ設定
	40	マスター・トランスポーズ
	41	右手のメロディーにハーモニー加える(アンサンブル機能)
	44	テンポとメトロノーム
	44	テンポ
	46	メトロノーム

- 48 スタイル・プレイ
- 48 スタイル
- 52 スタイルの再生
- 57 コード・シーケンサー
- 59 伴奏サウンドのミキシング
- 61 ソングの再生
- 61 ソングの選択
- 65 ソングの再生
- 68 フォルダー内のすべてのソングの再生
- 69 歌詞、コード、楽譜、マーカー
- 69 歌詞とコードの表示
- 73 楽譜の表示
- 76 マーカーを使ったソング内の移動
- 79 ソングブックを使う
- 79 ソングブックのエントリーを選択する
- 85 カスタム・リスト
- 86 ファイルやその他のアイテムの検索
- 86 検索機能

パート III 91 録音

- 92 MP3ソングの録音
- 92 MP3ソングの録音と保存

パート IV 95 付録

- 96 ショートカット
- 98 仕様

パート I: はじめに

01 イントロダクション

HAVIAN 30へようこそ

このたびはコルグ・デジタル・アンサンブル・ピアノHAVIAN 30をお買い上げいただきありがとうございます。

本機はプロフェッショナル用として、またご家庭用として、あらゆるシーンで十分ご満足いただけるパワフルなアレンジ機能をもった自動伴奏機能を装備したアンサンブル・ピアノです。

リアル・ピアノ・エクスペリエンス

本機はアコースティック・ピアノを弾くのに近い演奏感が得られるように設計されたデジタル・アンサンブル・ピアノです。高品位のリアル・ウエイテッド鍵盤は、本物と遜色のない手触りやタッチを提供します。マルチ・サンプリングされたグランド・ピアノ・サウンドは、本物のグランド・ピアノを弾くような感動を与えます。これらの特徴から嗜好する音楽ジャンルを問わず本物のピアノを弾くことに近い満足感が得られます。

多彩なピアノ・サウンド

本機のピアノ・サウンドは綿密に作られたグランド・ピアノをはじめ、なじみ深いアップライト・ピアノや刺激的なホンキー・トンク、豊富なエレクトリック・ピアノなどがあり選択の幅が広がります。また、巧みに作られた年代物のリアルなハーブシコードを選ぶこともできます。ラグタイムからリズム&ブルース、クラシック・ロックからモダンジャズ、初期のキーボード・ミュージックから最新のピアノ・ヒット曲まで多くの楽曲を演奏するのに必要サウンドをきっと見つけることができます。

自然な聴き心地

本機の音色は、すべてスタジオ品質のエフェクト・プロセッサーを通すことにより、ステレオ出力でも内蔵スピーカーでも素晴らしいリスニング体験を与えます。また、小さな音量でもクリアで綿密な音は深夜の練習に役立ちます。

自宅でもツアーでも

本機は快適なステージ演奏に欠かせない可搬性に優れた軽量コンパクトなデジタル・ピアノです。また自宅で演奏するために付属のダンパー・ペダルを固定できて、上品な家具のように設置できるオプションのモダンでスタイリッシュなスタンドも用意されています。さらにプログラマブルなメトロノームはリハーサルや練習に役に立ちます。

本機のスタイル・バンクに含まれるピアノ・スタイルを使うことで、手軽にステージでのセッション気分分で演奏や練習をすることができます。

簡単操作

本機はタッチ・スクリーンや整然とレイアウトされたキーなどのインターフェイスにより、あらゆる面でより簡単にスムーズに操作ができます。この使いやすい便利な先進機能は現実の世界で実物の楽器に触れるのと同じくらい簡単になりました。

タッチ・ディスプレイのタッチ位置が分かりづらい場合は、ディスプレイの枠の突起したマーク（ドット、ライン）でどこを触ればいいのかを指先でも感じることができます。この革新的なディスプレイ・ナビゲーション・システムにより、ブラインド操作および視覚障害者にさえ素早く操作する手助けになります。

専属のバンドがスタンバイ

本機には超リアル・サウンドを使った演奏に最適な自動伴奏をするスタイルが用意されています。あらゆる音楽ジャンル満たす多数のスタイルがあり、追加拡張することもできます。スタイルは新規に作成したり、既存のものをカスタマイズする楽しみもあります。

本機にはコード演奏に従って自動演奏をする8つのパートがあります。これにより、もっとも簡単な方法で、巧みなジャズ・プレイヤーの贅沢な伴奏やハーモニーを楽しむことができます。もちろん、どんなときにも本当のバンド演奏のように自然に聞こえるように高度にプログラムされています。

ソングの再生と録音

MIDIフォーマット、およびMP3フォーマットのソングが再生できます。ソング再生時は歌詞やコードなどを表示することができます。また、MIDIソングの各トラックを読み込んで楽譜に変換し表示することもできます。さらに、リハーサルや練習をするときに任意のリピート・ポイントに移動するためにマーカーを使うこともできます。

フル機能のシーケンサーを使用してMIDIソングを録音したり、ライブ・パフォーマンスのためのスタイルを記録することができます。さらに簡単にMP3ファイルとして録音することで、パーティやドライブなど好きな場所で好きな仲間と一緒に聴くことができます。

6 | イントロダクション

ソングブック

本機には非常に多くのミュージック・データベースを持っています。この膨大なコレクションから嗜好にあったスタイルやソングを探し出すのは非常に時間がかかるものです。しかし本機のソングブックを使えば名前、アーティスト、ジャンルやテンポに基づいたミュージック・データベースから素早く希望に合ったスタイルやソングを簡単に呼び出すことができます。

ソングブックは我々が提供するフリー・エディターによってパソコンでも編集ができます。またそれは外部ハンディ・タイプの電子楽譜のようにタブレット端末と同期させることもできます(サード・パーティ・ソフトウェアが必要)。

汎用性の高いインターフェイス、フォーマット

USBポートは専用のMIDIインターフェイスを必要とすることなく、外部記憶装置やパーソナルコンピューター、スマートフォン、またはタブレットと本機を接続することが可能です。標準的なMIDまたはMP3ファイル・フォーマットが使用できるので、ファイル交換の可能性がより広がります。

演奏を始める前に

パッケージの確認

最初に付属品等がすべて揃っているかどうかをお確かめください。万が一、何か足りないものがありましたら、お手数ですがお買い上げの楽器店等にお問い合わせください。

- HAVIAN 30
- 譜面台
- DS2Hダンパー・ペダル(ハーフ・ペダル対応)
- ACアダプター
- ACアダプター用電源コード
- クイック・ガイド(本誌)
- ビデオ・マニュアル、ユーザー・マニュアル、ピアノ・ソロ・コレクション、ユーティリティ・ソフトウェアなどを含んだアクセサリー・ディスク

オプションについて

本機には下記のオプション(別売)が用意されています。

- 本機のデザインをより引き立てる専用のピアノ・スタンドを用意しています。スタンドを使うとACアダプターやそのほかのケーブルをきれいに収めることができ、所定の位置にダンパー・ペダルを堅固に固定することができます。
- コルグのカタログに載っているフットスイッチや別のペダルがDS2Hの代わりに使用できます。

HAVIAN 30の最新情報について

コルグでは、HAVIAN 30の情報を以下のコルグ・ホームページで提供しています。

<http://www.korg.com/>

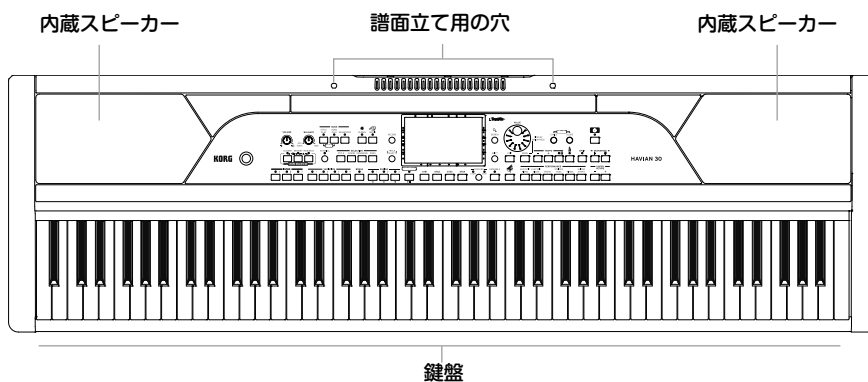
オペレーティング・システムの最新版やさまざまなシステム・ファイル(例えば、ファクトリー・データのバックアップなど)があります。

各部の名称と機能

ここではフロント・パネルとリア・パネルの各部の名称と機能の説明をします。

フロント・パネル

フロント・パネルは本機をコントロールする各種コントローラーや内蔵スピーカー、譜面立て用の穴が配置されています。



スピーカー

VOLUMEノブで内蔵スピーカーの音量や**AUDIO**端子の出力を調節します。

AUDIO端子にヘッドホンや音響機器を接続すると、スピーカーからは自動的に音が出なくなります。

鍵盤

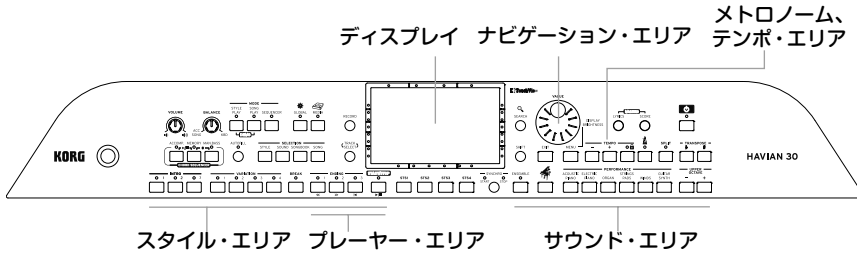
鍵盤でメロディー（旋律）やコードを弾きます。**SPLIT**のLEDが点灯しているときは、設定した分割位置を境に音域を変えたり、別の音色を弾くことができます。

譜面立て用の穴

本機には、専用の譜面立てを付属しています。譜面立ての足の部分を譜面立て用の穴に差し込んでください(13ページ「譜面立ての取り付け」参照)。

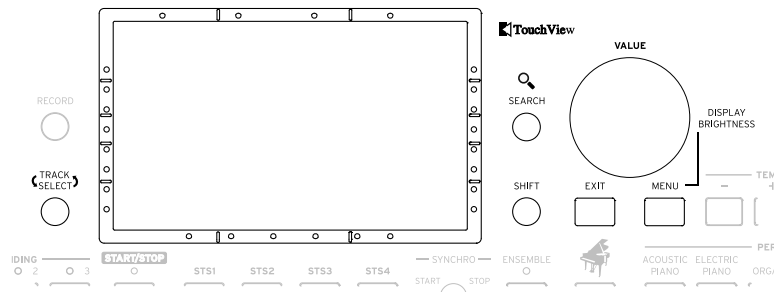
コントロール・パネル

コントロール・パネルには、本機をコントロールする各種コントローラーが機能別に配置されています。



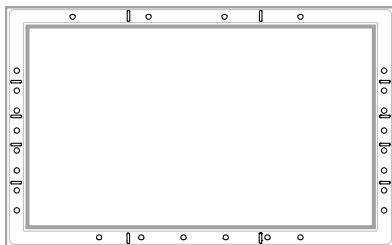
ディスプレイ

タッチビュー・スクリーンに表示される内容の選択やパラメーターの設定などの操作を行います。



ブラインド操作および視覚障害者のためのディスプレイ・ナビゲーション支援マーク

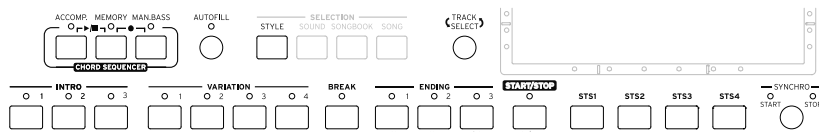
タッチビュー・スクリーンを囲むように突起したマーク（ドット、ライン）が存在します。これはマークを指で触ることで、ディスプレイに表示されているオブジェクトの境界の位置の目安にすることができます。オプションのサポート・キットを使用すると、さらに容易に操作することができます。詳しくは22ページの「ディスプレイ・ナビゲーション支援マークの使い方」をご覧ください。



10 | イントロダクション

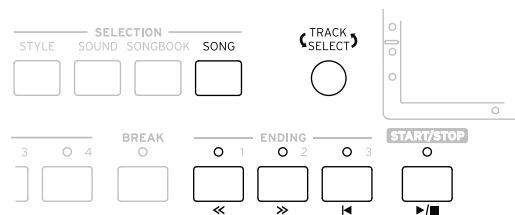
スタイル・エリア

自動演奏(アカンパニメント)に使用するスタイル・エレメントをコントロールします(52ページ「スタイルの再生」参照)。



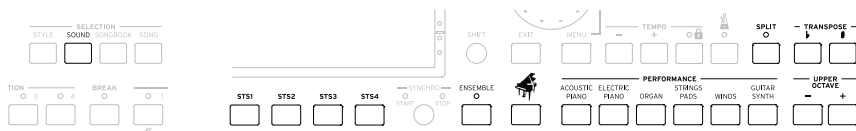
プレーヤー・エリア

ソングの再生はプレーヤー・エリアのキーでコントロールします(61ページ「10ソングの再生」参照)。



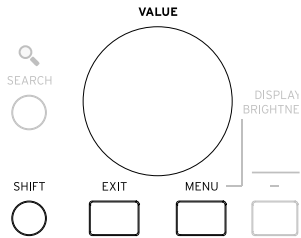
サウンド・エリア

鍵盤で演奏するパフォーマンスとSTSで構成されたサウンドをコントロールします(31ページ「06 サウンドの演奏」参照)。



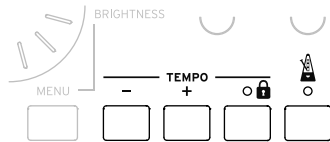
ナビゲーション・エリア

バリュー・ダイヤルや各キーで、モード内のページやパラメーターの設定、さまざまなミュージカル・リソースの検索などを行います。



メトロノーム、テンポ・エリア

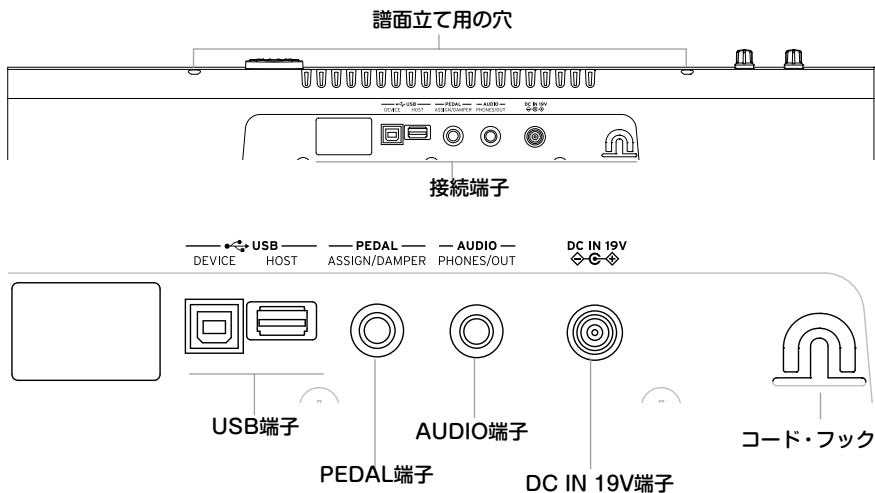
各キーでメトロノームを使った練習やスタイル、ソング、およびメトロノームのテンポを設定します(44ページ「08 テンポとメトロノーム」参照)。



12 | イントロダクション

リア・パネル

各種外部機器と接続する端子です(13ページ参照)。



USB端子

本機とコンピューターを接続するときは**DEVICE**に、USBスティックのようなメモリー・デバイスは**HOST**に接続します。

PEDAL端子

付属の**DS2H**ダンパー・ペダルを接続します。また、オプションのペダルやフットスイッチを接続することもできます。

AUDIO端子

ヘッドホン(初期設定)、またはライン出力ケーブルを接続します。

DC IN 19V端子、コード・フック

付属のACアダプターを接続します。ACアダプターが簡単に外れないようにコードをコード・フックに引っかけます。

02 アクセサリーの使用法

ダンパー・ペダルを使う

リア・パネルのPEDAL端子に付属のDS2Hダンパー・ペダルを接続します。このペダルを使用すれば、本機のグランド・ピアノ・サウンドでハーフ・ペダリングのテクニックを使用した演奏が行えます。ペダルを徐々に踏んだり離したりすることで効果が変わることをご確認ください。本機のサウンドGrand Piano RXでその違いを確かめることができます。

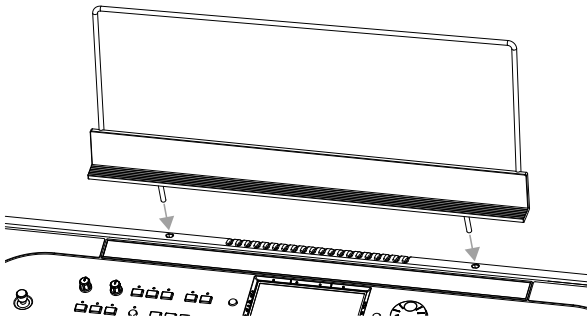
ヘッドホンを使う

リア・パネルのAUDIO端子にヘッドホンを接続します。16 ~ 200Ω (50Ω推奨) のインピーダンスのヘッドホンが使えます。ヘッドホンを接続すると、内蔵スピーカーからの音は出なくなります。

ヘッドホンの出力はVOLUMEノブで調節します。

譜面立ての取り付け

下図のように付属の譜面立ての足の部分をフロント・パネルの2つの譜面立て用の穴に差し込んでください。



03 電源

電源をオンにする

ACアダプターの接続

付属のACアダプターにACアダプター用電源コードを取付け、DCプラグを後面のDC IN 19V端子に接続します。

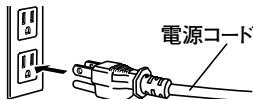
注意：ACアダプターのコードをコード・フックに引っかけてください。コードをフックから外すときは、無理に引っ張らないでください。

注意：ACアダプターは必ず付属のものをお使いください。他のACアダプターを使用した場合、故障などの原因となります。

注意：電源は必ずAC100Vを使用してください。

図2

設置極付きコンセント



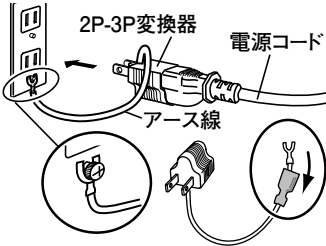
電源コードのプラグには、アース端子が付いています。感電と機器の損傷を防ぐために、アース接続を確実に行って、コンセントに接続します。

接地極付きコンセントに接続する場合(図2)

接地極付きコンセントに電源コードのプラグをそのまま差し込んでください。

図3

アース端子付きコンセント



アース端子付きコンセントに接続する場合(図3)

電源コードのプラグに、2P-3P変換器を取り付けます。そして、コンセントのアース端子にアース線を接続し、2P-3P変換器のプラグを差し込みます。

警告：アース接続は、コンセントにプラグを差し込む前に行ってください。また、アース接続を外すときは、コンセントからプラグを抜いてから行ってください。


2P-3P変換器のアース線のU字端子にカバーが付いている場合は、カバーをはずして使用してください。

必要に応じてケーブル類を接続してください。本機はこの状態でスタンバイ状態になります。


注意：スタンバイ状態は電源ラインから完全には切り離されていません。この状態で本機の内部を触るのは非常に危険です。本機の電源を完全に切るときは、壁のコンセントからACアダプターの電源コードを必ず抜いてください。

電源のオン、オフ

電源のオン

- コントロール・パネルの電源キー（）を押して本機の電源をオンにします。電源LEDが点灯して数秒後に初期画面が表示され、しばらくするとスタイル・プレイ・モードのメイン・ページが表示されます。

電源のオフ(スタンバイ)

- ディスプレイが暗くなるまで電源キー（）を数秒間押し続けたままにし、その後キーを離します。この時点で電源をオフにする処理が始まり、数秒後に電源LEDが消灯します。この処理は少し時間がかかる場合があります。電源LEDが消灯するまではACアダプターを本機やコンセントから絶対に外さないでください。

画面のキャリブレーション

タッチビュー・ディスプレイのキャリブレーション

ディスプレイのタッチ入力思うように行かないときや、ディスプレイをタッチしたところが反応しないとき、または、新しいオペレーティング・システムをロードした後などに、タッチビュー・ディスプレイのキャリブレーションを行います。より正確に調整をするには、ペンのキャップやタブレットのスタイラス・ペンを使用してください。

注意：先端が鋭利なものは使用しないでください。ディスプレイを破損する恐れがあります。

- 1 下記のTouch Panel Calibrationページがディスプレイに表示されるまでコントロール・パネルのGLOBALキーを押し続けます。



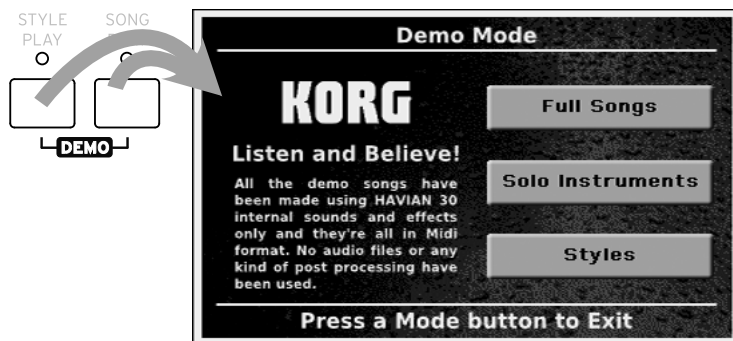
- 2 最初にディスプレイの左上に表示される、矢印の中心を正確にタッチします。
 - 3 矢の集合形は、ディスプレイの他の角へ移動します。矢印の中心を正確にタッチします。
 - 4 最後に**Save**ボタンをタッチして、キャリブレーションを確定します。
- キャリブレーションを途中でキャンセルするときは、コントロール・パネルのEXITキーを押します。

デモ・ソングを聞く

デモ・ソングの再生

デモ・モードに入る

- コントロール・パネルのSTYLE PLAYキーとSONG PLAYキーを同時に押します。

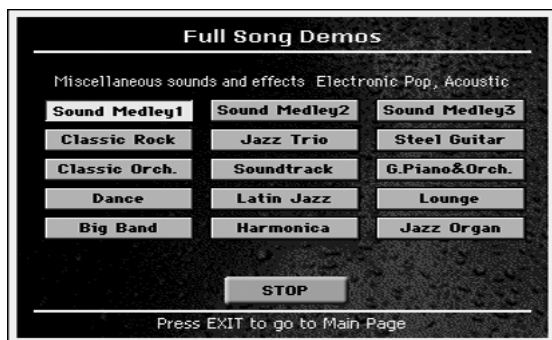


デモ・ソングを聞く

- デモ・モードに入ってから、ディスプレイのタッチ操作をしないと、すべてのデモ・ソングを順番に再生します。

デモ・ソングを選ぶ

- 特定のデモ・ソングを聴きたい場合は、タイプ(Full Songs、Solo Instruments、Styles)を選んでから聴きたいデモ・ソングを選択します。



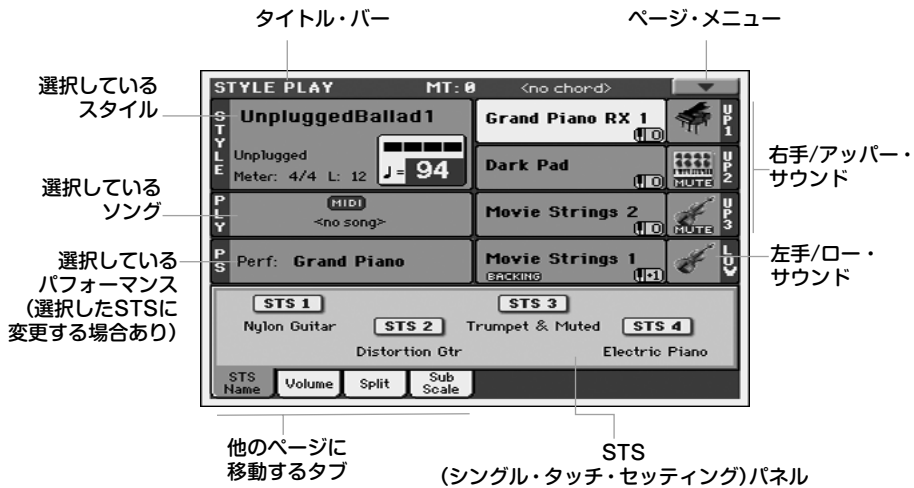
デモ・モードから出る

- コントロール・パネルのいずれかのモード・キーを押すと、デモ・モードが終了して選択したモードに戻ります。

04 インターフェイスの基本

メイン・ページ

本機の電源をオンにしたときは、常にスタイル・プレイ・モードのメイン・ページが表示されます。スタイル・プレイ・モードのページからこのページに戻るときは、**EXIT**キーを押します。また、違うモードにいるときは、**STYLE PLAY**キーを押してこのページに戻ります。



ページの操作

ページを開く

本機のクイック・ガイドでは、ページの場所は下記のように説明します。

STYLE PLAY > Mixer/Tuning > EQ Control

モード

エディット・セクション

ページ

上記のページ画面に移動してみましょう:

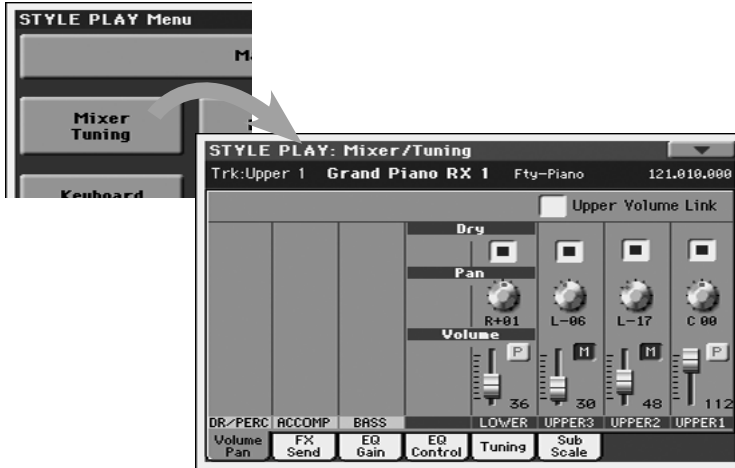
- 1 コントロール・パネルの**STYLE PLAY**キーを押してスタイル・プレイ・モードに入ります。本機の電源を入れたときの画面は、いつでも下記のスタイル・プレイ・モードのメイン・ページが表示されます。



- 2 コントロール・パネルの**MENU**キーを押してスタイル・プレイ・モードのエディット・セクションのメニューを表示します。



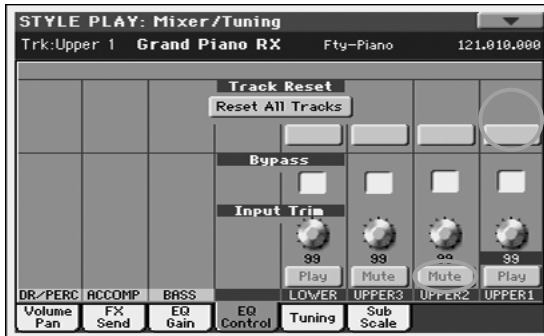
- 3 エディット・セクション・メニューのMixer/TuningボタンをタッチしてMixer/Tuningエディット・セクションに移動します。



- 4 EQ Controlページが表示されていないときはディスプレイ下部のEQ ControlタブをタッチしてEQ Controlページを表示します。

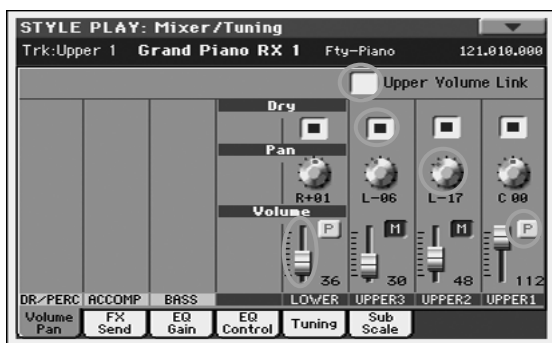


- 5 このページでパラメーターの設定を行います

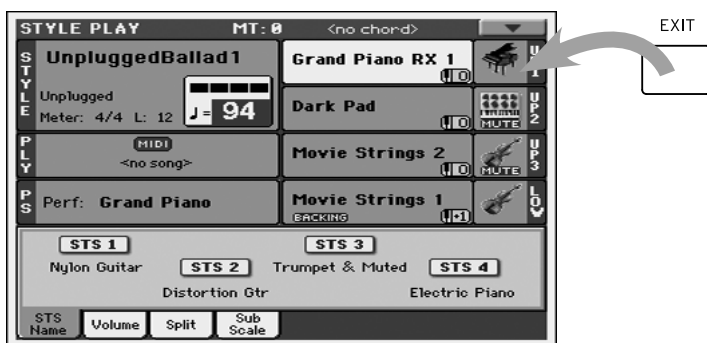


20 | インターフェイスの基本

- 6 同じエディット・セクションの別のページを表示してみましょう。**Volume/Pan** ページに移動するときはディスプレイ左下の**Volume/Pan**タブをタッチします。



- 7 コントロール・パネルの**EXIT**キーを押すと、スタイル・プレイ・モードのメイン・ページに戻ることができます。

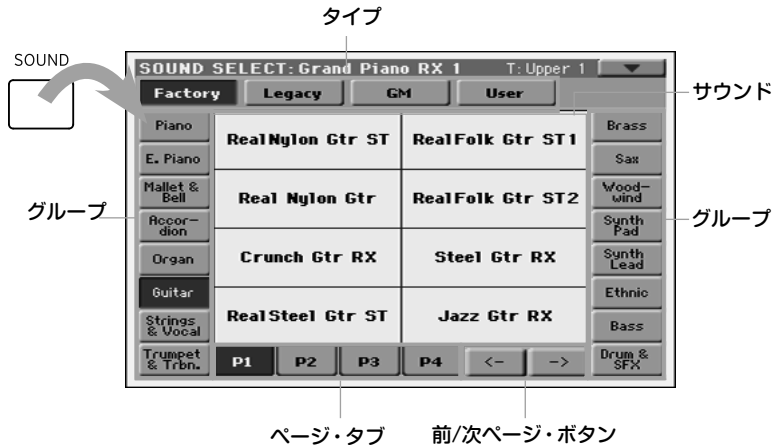


同じようにソング・プレイ・モードのエディット・セクションの各ページが表示されているときに**EXIT**キーを押すことでソング・プレイ・モードのメイン・ページに戻ることができます。

ミュージカル・リソースの選択

選択ウィンドウを開く

コントロール・パネルの**STYLE**、**SOUND**または、**PERFORMANCE**キーを押すとそれぞれのキーに対応する選択ウィンドウが表示されます。ここではサウンド選択ウィンドウ(SOUND SELECT)で説明します。



EXITキーを押すと選択ウィンドウを開く前の画面に戻すことができます。

選択ウィンドウは選択した後で、何もしないで数秒経過すると自動的に閉じます。自動的に閉じずに**EXIT**キーを押したときだけ閉じるようにしたいときは、**Display Hold**パラメーターをオンにしてください(35ページ「ディスプレイ・ホールド」参照)。

ディスプレイ・ナビゲーション支援マークの使い方

ブラインド操作、および視覚障害者のためにタッチビュー・スクリーンを囲むように突起したマーク（ドット、ライン）があります。これをディスプレイ・ナビゲーション支援マークと呼びます。このマークを有効に使うためには、**Display Hold**パラメーターをオンにすることをお勧めします。

タイプを選ぶ

ディスプレイ上枠のドット・マークは選択ウィンドウのタイプ・ボタン(**Factory**、**User**など)に対応しています。



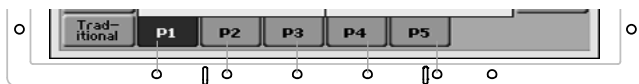
グループを選ぶ

ディスプレイ左右両枠のドット・マークは選択ウィンドウのグループ・ボタン(楽器のタイプ、音楽ジャンル、スタイルのバンクなど)に対応しています。

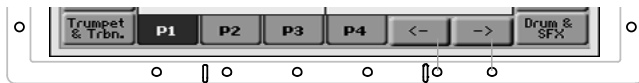


ページの選択

ディスプレイ下枠のドット・マークは選択ウィンドウのページ・タブに対応しています。

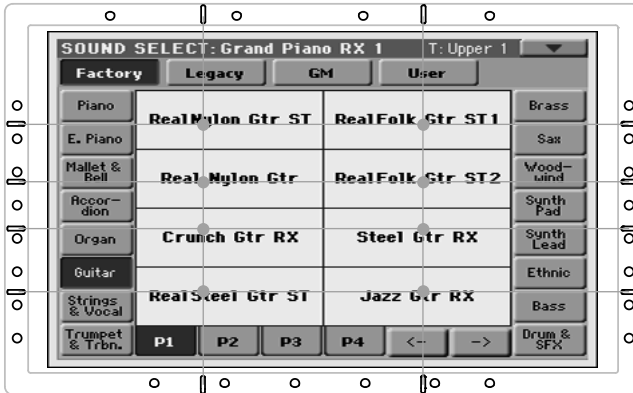


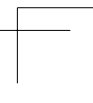
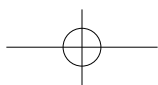
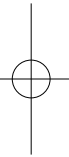
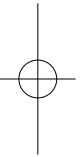
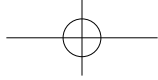
ページが6つ以上あってタブが表示できない場合は、下枠右端の2つのドットが前/先ページ・ボタンに対応して、スクロールさせることができます。



エレメントの選択

ディスプレイの中央部分に選択するエレメントがある選択ウィンドウでは、ディスプレイの上下左右枠のライン・マークを使って、選択項目の位置を特定することができます。それぞれ上下のラインと左右のラインが交差する位置に選択するエレメントがあります。





パート II: 演奏

05 イージー・モード

イージー・モードのオン、オフ

ページ・メニューを使って、イージー・モードのオン、オフを切り替えます。

イージー・モードをオンにする

- 1 ディスプレイの右上隅の下向き▼が入った小さな四角形をタッチして、ページ・メニューを開きます。



- 2 ページ・メニューの**Easy Mode**コマンドを選択(タッチしてチェックを付ける)してください。

✓ Easy Mode

これでイージー・モードがオンになり、ディスプレイにはイージー・モードで有効なパラメーターだけを表示します。

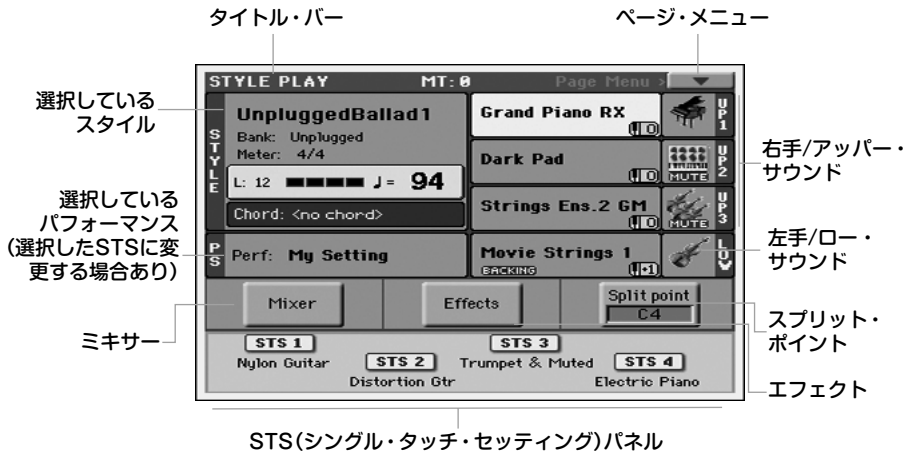
イージー・モードをオフにする

- 1 ディスプレイの右上隅の下向き▼が入った小さな四角形をタッチして、ページ・メニューを開きます
- 2 ページ・メニューの**Easy Mode**コマンドを無効(タッチしてチェックを外す)にしてください。

Easy Mode

これで、イージー・モードがオフになって標準モードに戻り、ディスプレイにはメイン・ページのすべてのパラメーターが表示されます。

スタイル・プレイ・イージー・モード画面



スタイル・プレイ・モード画面に切り替える

本機の電源を入れたときは、自動的にこの画面になります。ほかの画面を表示しているときにこの画面にするとときは、**STYLE PLAY**キーを押してください。

選択しているスタイル

この部分をタッチするとスタイル選択ウィンドウ (**STYLE SELECT**) が開き、他のスタイルを選択することができます。スタイル名の下にはバンク名、拍子(または拍子記号)、小節の長さ、現在の拍(ビート)、テンポ、認識したコードが表示されます。

選択しているパフォーマンス(またはSTS)

この部分をタッチするとパフォーマンス選択ウィンドウ (**PERFORMANCE SELECT**) が開き、他のパフォーマンスを選択することができます。ここにSTS名を表示する場合もあります。

右手用(アッパー)と左手(ロー)サウンド

各サウンド名をタッチするとサウンド選択ウィンドウ (**SOUND SELECT**) が開き、他のサウンドを選択することができます。右手用のサウンドは最大3つまで、左手用のサウンドは1つ設定することができます。

プレイ/ミュート・アイコン

サウンド名の右側にミュート・アイコン (**MUTE**) が表示される場合があります。楽器のタイプ・アイコンをタッチすることでサウンドのオン(プレイ)、オフ(ミュート)を切り替えます。

ミキサー

サウンドの音量やパン(定位)を調節するときは、**Mixer**ボタンをタッチしてください。

エフェクト

エフェクトの選択や調整をするときは、**Effects**ボタンをタッチしてください。

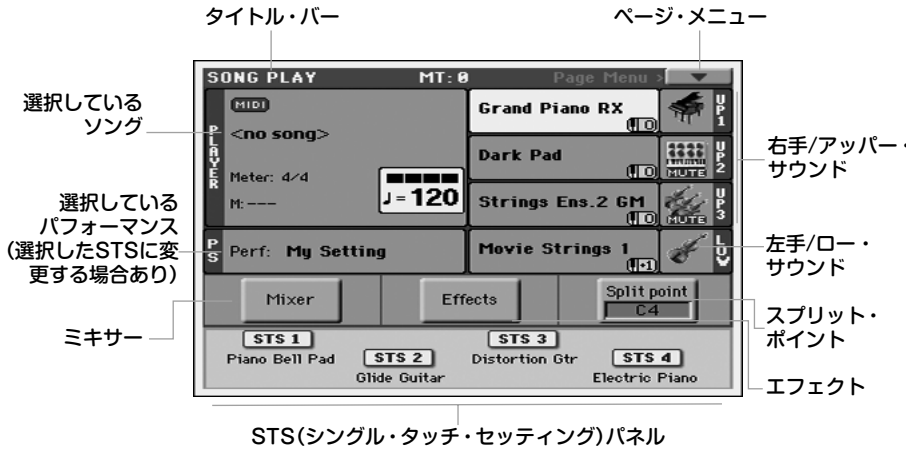
スプリット・ポイント

新しいスプリット・ポイントを設定するときは、**Split Point**ボタンをタッチしてから、アッパー・サウンドの最低音になる鍵盤のキーを押してください。

STS(シングル・タッチ・セッティング)

ディスプレイのSTSの表示部分をタッチするか、コントロール・パネルの**STS1**～**4**のキーを押してSTSを切り替えます。鍵盤を弾いたときのサウンドが変わります。

ソング・プレイ・イージー・モード画面



ソング・プレイ・モード画面に切り替える

この画面に切り替えるときは、**SONG PLAY**キーを押してください。

選択しているソング

この部分をタッチするとソング選択ウィンドウ (**Song Selection**) が開き、他のソングを選択することができます。ソング名の下には拍子(または拍子記号)、現在の小節位置、現在の拍(ビート)、テンポが表示されます。

選択しているパフォーマンス(またはSTS)

この部分をタッチするとパフォーマンス選択ウィンドウ (**PERFORMANCE SELECT**) が開き、他のパフォーマンスを選択することができます。ここにSTS名を表示する場合があります。

右手用(アッパー)と左手(ロー)サウンド

各サウンド名をタッチするとサウンド選択ウィンドウ (**SOUND SELECT**) が開き、他のサウンドを選択することができます。右手用のサウンドは最大3つまで、左手用のサウンドは1つ設定することができます。

プレイ/ミュート・アイコン

サウンド名の右側にミュート・アイコン (**MUTE**) が表示される場合があります。楽器のタイプ・アイコンをタッチすることでサウンドのオン(プレイ)、オフ(ミュート)を切り替えます。

30 | イージー・モード

ミキサー

サウンドの音量やパン(定位)を調節するときは、**Mixer**ボタンをタッチしてください。

エフェクト

エフェクトの選択や調整をするときは、**Effects**ボタンをタッチしてください。

スプリット・ポイント

新しいスプリット・ポイントを設定するときは、**Split Point**ボタンをタッチしてから、アッパー・サウンドの最低音になる鍵盤のキーを押してください。

STS(シングル・タッチ・セッティング)

ディスプレイのSTSの表示部分をタッチするか、コントロール・パネルの**STS1**～**4**のキーを押してSTSを切り替えます。鍵盤を弾いたときのサウンドが変わります。

06 サウンドの演奏

グランド・ピアノの演奏

グランド・ピアノ・サウンドの選択

- コントロール・パネルのグランド・ピアノ(下)キーを押してグランド・ピアノ・サウンドを選びます。

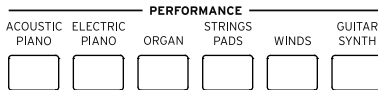
演奏するサウンドの選択

パフォーマンス・サウンドの選択

コントロール・パネルのキーを押すか、ディスプレイをタッチすることでパフォーマンスを選択できます。

コントロール・パネルのキーでパフォーマンス選択ウィンドウを開く

- **PERFORMANCE**セクションのいずれかのキーを押します。なお、各キーの上には楽器のタイプが表示されています。



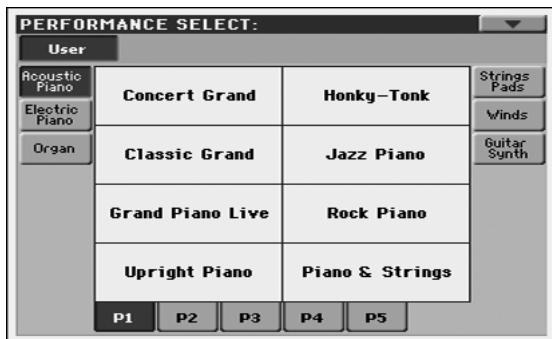
ディスプレイをタッチしてパフォーマンス選択ウィンドウを開く

- メイン・ページが表示されているときに選択されているパフォーマンス名をタッチします。

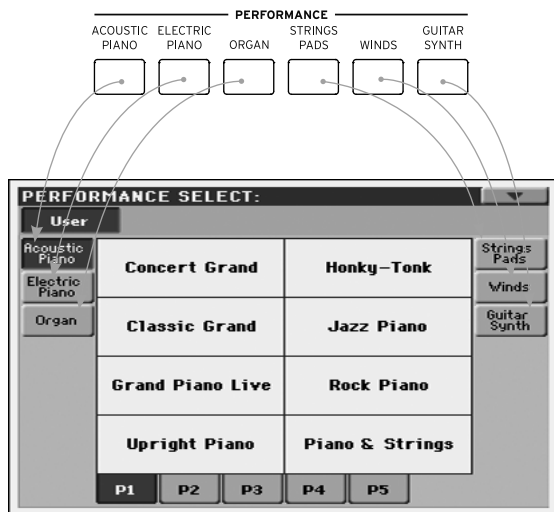


パフォーマンス選択ウィンドウで選ぶ

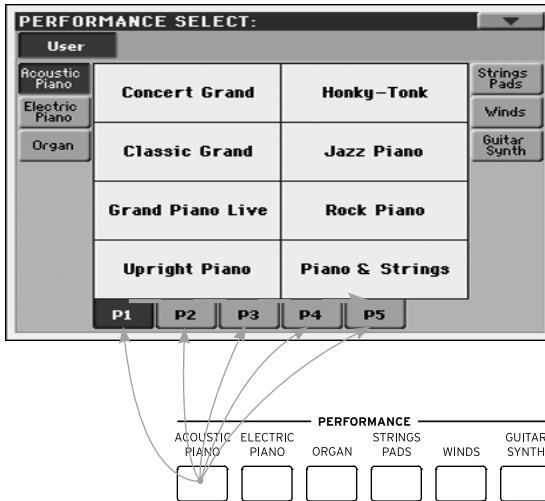
キー、またはディスプレイをタッチするとすぐにパフォーマンス選択ウィンドウが表示されます。



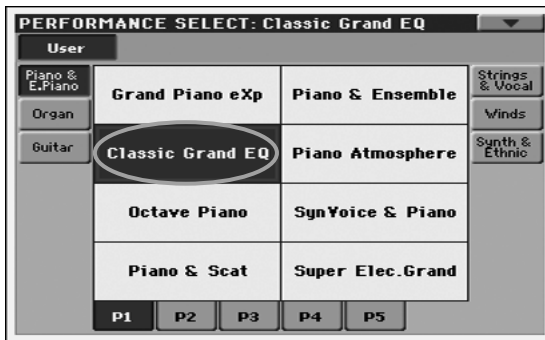
- 1 違う楽器のタイプのパフォーマンスを選ぶときは、コントロール・パネルの **PERFORMANCE** セクションの別のキーか、ディスプレイの両サイドの楽器のタイプ・ボタンをタッチしてタイプを切り替えます。



- 2 楽器のタイプの中にはP1からP5のページがあります。ページを変更するときは、コントロール・パネルの**PERFORMANCE**セクションの現在選んでいる楽器のタイプ・キーを繰り返し押すか、ディスプレイの下のページ・タブをタッチしてページを切り替えます。



- 3 ディスプレイに表示されているパフォーマンス名をタッチして選択してください。



- 4 選択が終わったら**EXIT**キーを押して、メイン・ページに戻ります。なお、自動的にウィンドウを閉じる設定(**Display Hold**がオフ)の場合は、選択した後にもしないで数秒経過すると、自動的にパフォーマンス選択ウィンドウが閉じてメイン・ページに戻ります。

メイン・ページに戻ると、選択したパフォーマンス名が左下に表示され、パフォーマンスを構成しているサウンドの名前がディスプレイの右半分に表示されます。



STS(シングル・タッチ・セッティング)の選択

コントロール・パネルのキーを押す、またはディスプレイをタッチすることでSTSを選択できます。

コントロール・パネルのキーで選ぶ

- STSセクションのいずれかのキーを押します。



ディスプレイをタッチしてSTSを選ぶ

- 1 メイン・ページのディスプレイの下部に、STS名のパネルが表示されていることを確認してください。表示されていない場合は、**STS Name**タブをタッチしてください。



- 2 ディスプレイのSTS名をタッチして選択します。
メイン・ページのSTS表示部には選択したSTS名が反転表示になり、STSを構成しているサウンドの名前がディスプレイの右半分に表示されます。

ディスプレイ・ホールド

サウンド、パフォーマンス、STSやスタイルを選ぶ場合は、それぞれの選択ウィンドウが表示されます。いろいろなエレメントを確認する場合は、この選択ウィンドウ開いたままが便利ですが、選択して数秒後に自動的にこのウィンドウを閉じて、各メイン・ページへ戻るようにすることもできます。これは**Display Hold**パラメーターの設定で切り替えます。

ディスプレイ・ホールドのオン、オフ切り替え

- 1 **GLOBAL > General Controls > Interface**ページを開きます。
- 2 **Display Hold**パラメーターのオン、オフの設定をします。
 - オンのときは**Display Hold**の**On**チェック・ボックスにチェックを付けます。この場合は、サウンド、パフォーマンス、STSやスタイル選択ウィンドウはコントロール・パネルの**EXIT**キーを押すまで開いたままになります。
 - オフのときは**Display Hold**の**On**チェック・ボックスのチェックを外します。この場合は、サウンド、パフォーマンス、STSやスタイル選択ウィンドウは何もしない状態が数秒続くと自動的に閉じて、各メイン・ページを表示します。
- 3 コントロール・パネルの**EXIT**キーを押して元のページに戻ります。

サウンド、パフォーマンス、STS

サウンドはアレンジャー・キーボードの基本となるものです。サウンドのセットをパフォーマンスやSTSに記憶させることができます。

各パフォーマンスには、キーボード・トラック(推奨するサウンドを含む)、トランスポーズ、エフェクトやその他の情報などさまざまな設定が含まれます。各パフォーマンスは、パフォーマンス・バンク内に保存されています。

STS(シングル・タッチ・セッティング)は、パフォーマンスに似ていますが、スタイルやソングブック・エントリーに関連付けられています。そのため4つのSTSのセットはスタイルやソングブック・エントリーを選択するたびに変更されます。

パート、トラック、チャンネル

鍵盤には、アッパー、ローのパートに分かれてサウンドが割り当てられています。スタイルやMIDIソングでは、それぞれのトラックにサウンドがアサインされています。このトラックはレコーダーのトラック(ミキサー・チャンネルに対応)相当します。本機はレコーダーやデジタル・ミキサーを搭載しています。そのため、1トラックに1つのサウンドがアサインされるので、録音とミックスが簡単にできます。

07 サウンドのカスタマイズ

右手と左手で異なるサウンドの演奏

鍵盤のスプリット・モードとフル・モード

スプリット・モードにする

- コントロール・パネルの**SPLIT**キーを押してLEDを点灯させます。このとき鍵盤はロー（左手）とアッパー（右手）のパートに分かれます。



スプリット・モードからアッパー・サウンドだけのフル・モードに戻す

- もう一度**SPLIT**キーを押してLEDを消灯させます。アッパー・パートのサウンド（たとえば、アコースティック・ピアノ）で全鍵盤を弾くフル・モードに戻ります。



スプリット・モード、フル・モードのサウンド

SPLITのLEDの点灯、消灯によりサウンドとサウンド数が変更されます。

- フル・モードのときはアッパー・パートのサウンドで全鍵盤を弾くことができます。
- スプリット・モードのときは、左手側がロー・サウンド、右手側がアッパー・サウンドを弾くことができます。

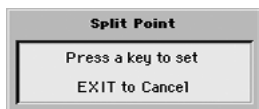
SPLIT LED	モード	左手(ロー)サウンド	右手(アッパー)サウンド
消灯	フル	ロー・サウンドなし	鍵盤全体に割り当てられた最大3つのアッパー・サウンド
点灯	スプリット	左手用に鍵盤に割り当てられたロー・サウンド	右手用に鍵盤に割り当てられたアッパー・サウンド

スプリット・ポイントを変更する

アップパー・サウンドとロー・サウンドの分割ポイント変更することができます。これをスプリット・ポイントと呼びます。

コントロール・パネルを使ってスプリット・ポイントを変更する。

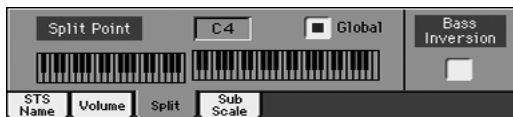
- 1 **Split Point**ダイアログ・ボックスが表示されるまで、**SPLIT**キーを押します。



- 2 アップパー（右手）パートの最低音にしたいノート（音）を鍵盤上で指定します。

ディスプレイを使ってスプリット・ポイントを変更する

- 1 メイン・ページを表示しているときに**Split**タブをタッチして**Split Point**パネルを表示します。



- 2 ディスプレイ上のキーボードをタッチし、アップパー（右手）パートの最低音にしたいノート（音）を鍵盤上で指定します。

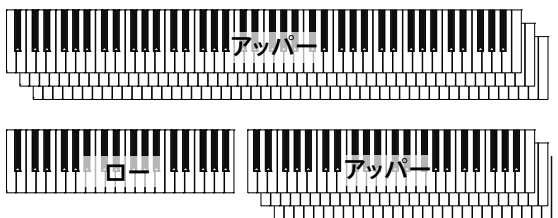
ディスプレイ上のスプリット・ポイント・パラメーターをタッチして選択し、**VALUE**ダイヤルで新しくノート（音）を設定する方法もあります。

同時に複数サウンドの演奏

鍵盤に割り当てられたサウンドのオン、オフ

最大で3つのサウンドをアップパー・トラックに重ねて演奏することができます。たとえば、グランド・ピアノにストリングスやシンセ・パッドのサウンドを重ねることでより有用な演奏ができます。サウンドはアップパー・パートのサウンドとして割り当てられます。

SPLITのLEDが消灯しているとき(フル・モード)は、アコースティック・ピアノを選んだときのように鍵盤全体を使って弾くことができます。また、**SPLIT**のLEDが点灯しているとき(スプリット・モード)は右手のパートとしてアップパー・サウンドを弾くことができます。



サウンドを有効にする(プレイ)

- 演奏したいサウンドにミュート(消音)されている場合は、楽器アイコンの下に **MUTE** アイコンが表示されているので、タッチしてアイコンを消してサウンドを有効(プレイ)にします。



サウンドを無効にする(ミュート)

- 演奏したくないサウンドがプレイになっていてミュートされていない場合は、楽器アイコンをタッチして、**MUTE** アイコンを表示させサウンドを無効にします。



サウンドのオクターブ設定

すべてのアップパー・サウンドをオクターブ単位で変更する

すべてのアップパー・サウンドのオクターブ設定を変更する場合は、コントロール・パネルのキーを使ってオクターブの上げ下げをします。

1オクターブ上げる

- UPPER OCTAVE +キーを押します。

1オクターブ下げる

- UPPER OCTAVE -キーを押します。

オクターブ設定をリセットする

- 2つのUPPER OCTAVEキーを同時に押します。

マスター・トランスポーズ

本機全体の音の高さをトランスポーズする

他の楽器や歌に演奏とキー（調）が合わない場合に、本機全体の音の高さをトランスポーズすることで演奏を合わせることができます。

トランスポーズの値は通常ページ・ヘッダーに表示されます。



トランスポーズの値を下げる

- コントロール・パネルの**TRANSPOSE ♭**(フラット)キーを押すたびに、マスター・トランスポーズの値が半音ずつ下がります。

トランスポーズの値を上げる

- コントロール・パネルの**TRANSPOSE ♯**(シャープ)キーを押すたびに、マスター・トランスポーズの値が半音ずつ上がります。

トランスポーズをリセットする

- 2つの**TRANSPOSE**キーを同時に押します。

右手のメロディーにハーモニー加える （アンサンブル機能）

アンサンブル機能は、左手で弾くコードと同じように、右手で弾いたメロディーにハーモニー演奏を加えます。なお、このアンサンブルにはいくつかのタイプがあります。

アンサンブル機能のオン、オフ

アンサンブル機能をオンにする

- 1 **SPLIT**のLEDの点灯でスプリット・モードを確認します。
- 2 **ENSEMBLE**キーを押すとアンサンブル機能がオンになりLEDが点灯します。
左手でコードを、右手でメロディーを弾きます。メロディーにノートやコードのハーモニーが追加されたのが確認できます。

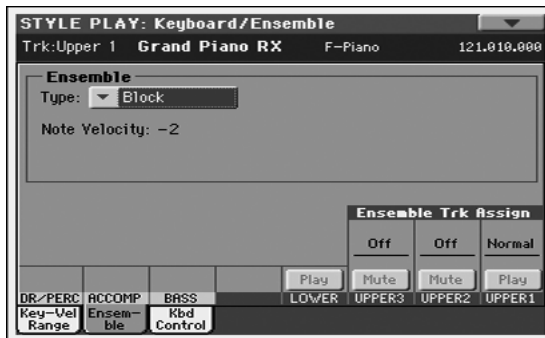
アンサンブル機能をオフにする

- **ENSEMBLE**キーを押すとアンサンブル機能がオフになりLEDが消灯します。

アンサンブルのタイプを選ぶ

異なるアンサンブルのタイプ（ハーモニー・スタイル）を選ぶ

- 1 **STYLE PLAY > Keyboard Ensemble > Ensemble**ページを開きます。
別の方法として、**SHIFT**キーを押しながら、**ENSEMBLE**キーを押して**Ensemble**ページを開くこともできます。



42 | サウンドのカスタマイズ

2 Typeパラメーターでアンサンブルのタイプを選びます。

タイプ	内容
Duet	メロディーに1つのノートを加えます。
Close	メロディーにクローズド・ポジションのコードを加えます。
Open 1	メロディーにオープン・ポジションのコードを加えます。
Open 2	Open 1と同じですが、和音の形が多少異なります。
Block	ジャズでおなじみのブロックのハーモニーです。
Power Ensemble	ハード・ロックでよく聴くような、5度と1オクターブをメロディーに加えます。
Third Up	メロディーの3度上の音程(認識されたコードによって変化します)をプラスします。
Fourths LO	ジャズの代表的なハーモニーで、メロディーから低い方に4度ずつ離れた2つのノートを加えます。
Fourths UP	Fourths LOと同じですが、メロディーから高い方に4度ずつ離れた2つのノートを加えます。
Fifths	メロディーから低い方に5度ずつ離れた2つのノートを加えます。
Octave	1オクターブをメロディーに加えます。
Dual	Noteパラメーターで設定した固定インターバルで、もう1つのノートをメロディー・ラインに加えます。これを選択すると、トランスポーズ値を表示します(-24~+24半音)。
Brass	典型的なブラス・セクションのハーモニーです。
Reed	典型的なリード・セクションのハーモニーです。
Trill	2つのノートを弾いたとき、それらのノートをトリルさせます。3音以上を弾いても、有効なのは最後に弾いた2音になります。トリルの速度は後述するTempoパラメーターで設定します。
Repeat	弾いたノートを後述のTempoパラメーターに同期して繰り返します。2音以上弾いても、最初のノートのみを繰り返します。
Echo	Repeatと同じですが、後述のFeedbackパラメーターで設定した回数リピートし、ノート・ベロシティが-1以下に設定していると、リピート音が次第にフェード・アウトしていきます。
AutoSplit1	複数のアップパー・トラックで演奏しているとき、複数のノートを同時に弾くと、アップパー1トラックは其中最も高い音、他のアップパー・トラックはそれ以外の音が発音します。もし、アップパー1トラックのみで演奏しているときは、通常どおりの演奏になります。
AutoSplit2	AutoSplit1と同様ですが、右手で演奏している複数のノートの最高音を離れたとき、アップパー1トラックは既に押さえられているノートの中で最も高いノートを発音し直します。

- 3 下表の追加パラメーターが表示された場合は、これらも設定します。

追加パラメーター	内容	バリュー
Note Velocity	右手で弾いたメロディーと追加されたハーモニーのノートとのペロシティの差を設定します。	-10…0
Tempo	タイプでTrill、Repeat、Echoのいずれかを選択したとき、何分音符の間隔で繰り返すかを設定します。テンポと同期します。	
Feedback	タイプでEchoを選択したとき、オリジナルのノート/コードが何回繰り返されるかを設定します。	[n]

- 4 アンサンブル機能のときの右手(アップー)のトラックの設定をします。

トラック設定	意味
Off	トラックにハーモニーを追加しません。
Normal	トラックにハーモニーを追加します。
Mute	トラックにハーモニーを追加しますが、元々弾いたノートは発音しません。

Ensembleページから出る

- EXITキーを押して元のページに戻ります。

08 テンポとメトロノーム

テンポ

テンポの値の設定

テンポの値の設定は、各スタイルや各パフォーマンスに保存されていますが、自由に変更することができます。同様にしてメトロノームのテンポも設定できます。

コントロール・パネルでテンポの値を変更する

- コントロール・パネルの**TEMPO**キーでテンポの値(またはMP3ソングの速度)を設定します。

ディスプレイでテンポの値を変更する

- 1 テンポの値が反転表示になっていないときは、テンポの値をタッチします。



- 2 コントロール・パネルの**VALUE**ダイヤルでテンポの値を設定します。

テンポの値をリセットする

- コントロール・パネルの**TEMPO**の+と-キーを同時に押します。
スタイルやMIDIソングに記憶されているテンポに戻ります。また、MP3ソングも記憶されているオリジナルの速度に戻ります。

タップ・テンポ機能

スタイル・モードでは、タップ・テンポ機能でテンポの値を設定できます。

タップ・テンポ機能を有効にする

- スタイル演奏をしていないときに、**SHIFT**キーを押しながらメトロノーム (M) キーを押します。**Tap Tempo**ウィンドウが表示されます。



テンポの値を打ち込む

- **START/STOP**キーを押してテンポを設定します。**Tap Tempo**ウィンドウに表示された拍子と同じ数だけキーを押します。

設定が終わると、設定されたタップ・テンポでスタイル演奏を開始します。

タップ・テンポ機能を無効にする

タップ・テンポ機能はテンポが設定されると自動的にオフ(無効)になります。タップ・テンポ機能を使わずに止めるときは**EXIT**キーを押します。

テンポ・ロック

異なるスタイルやMIDIソングを選んだときに、自動的にテンポが変わるのを防ぐことができます。ただし、MP3ソングはテンポ・ロックとは無関係で、常に録音されている速度で再生されます。

テンポ・ロックを使うとスタイルやMIDIソングの切り替えにとらわれずに、自由にタップ・テンポ機能や手動でテンポの値を設定することができます。ただし、スタイル・プレイとソング・プレイでは別々のテンポになることに注意してください。

スタイルやソングを選んでもテンポを変えない

- コントロール・パネルの**TEMPO**のロック (L) キーを押してLEDを点灯させます。この場合は、異なるスタイルやソングを選んでもテンポは変わりません。このテンポは前述の方法でテンポを自由に変更することができます。

スタイルやソングを選んだときに、それぞれの持っているテンポに変える

- コントロール・パネルの**TEMPO**のロック (L) キーを押してLEDを消灯させます。この場合は、異なるスタイルやソングを選ぶと、それぞれの持っているテンポに変わります。

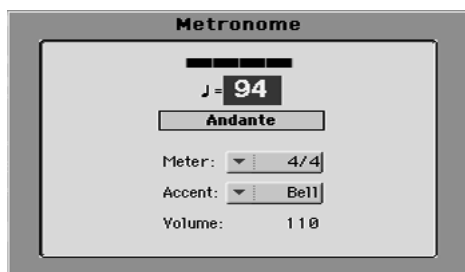
スタイル・パターンやMIDIソングに、テンポ・チェンジ・イベントが含まれる場合もテンポを変更します。

メトロノーム

メトロノームのオン、オフ

メトロノームをオンにする

- メトロノーム (📏) キーを押してメトロノームのLEDを点灯します。**Metronome** ウィンドウが表示され、現在設定されているテンポや拍子でメトロノームの再生を始めます。



メトロノームをオフにする

- メトロノーム (📏) キーを押してメトロノームのLEDを消灯します。メトロノームの再生が止まります。

拍子(メーター)、アクセント音、音量の設定

開始小節の拍子とアクセントの設定をします。

Metronomeウィンドウを開く

- メトロノーム (📏) キーを押します。

拍子(メーター)を設定する

- **Meter**パラメーターで、拍子を設定します。

アクセント音の設定


- **Accent**パラメーターでアクセント音の設定をします。

アクセント音	意味
Normal	アクセント音なし
Accent	各小節の1拍目にアクセント音が付きます。
Bell	各小節の1拍目にアクセントのベルの音が鳴ります。

メトロノーム音量の設定

- **Volume**パラメーターでメトロノーム音量を設定します。

Metronomeウィンドウを閉じる

- コントロール・パネルの**EXIT**キーを押すと、メトロノームが止まり、**Metronome**ウィンドウが閉じます。
- メトロノーム () キーを押すと、メトロノームが止まり、**Metronome**ウィンドウが閉じます。

09 スタイル・プレイ

スタイル

スタイルとは？

スタイルは、8人編成のバンドと演奏するような、最大8つのパートの自動演奏で構成される特定の音楽ジャンル(または音楽スタイル)の音楽パターンのコレクションです。鍵盤で弾いたコードが認識されると、演奏に適応したパターンが再生されます。さまざまなセクションを駆使することで、リアルタイムで完全な曲を作成することができます。

アカンパニメント・パート

アカンパニメント・パートはちょうどバンドの伴奏メンバーのようなものです。本機を使うことは5人の音階楽器プレイヤー(たとえばギター、ピアノ、ストリングス、シンセサイザー)とベーシスト、ドラマー、パーカッション・プレイヤーを得たのと同じようなものです。

コードとパターン

アカンパニメント・パターンは認識したコードに対応しながら変化する繰り返しのミュージカル・シーケンス(ベース・グループ、ギター・リフ、ピアノのコード進行など)です。これらはコードのタイプ(C Maj、C min、7thなど)に応じて異なります。

セクション

ソングは異なるセクション(イントロ、Aメロ、つなぎ、サビ1など)から構成されています。これらの各セクションには異なるパターンがあります。それらはスタイル・エレメントのキー(INTRO、VARIATION、AUTOFILL、BREAK、ENDING)に格納されています。イントロ、フィル、ブレイク、エンディングは対応するソングのセクション名と同じですが、バリエーションはAメロ、Bメロ、つなぎ、サビ1、サビ2などのセクションとして使います。なお、各エレメントのナンバーが多いほうが(1よりも4)より複雑なアレンジになっています。

オートフィル

本機はバリエーションを選んだ時に自動的に同じナンバーのフィルを選ぶことができます。**AUTOFILL**をオンにしてLEDが点灯しているときは、初めに選んだバリエーションと同じナンバーのフィルも自動的に選択されます。たとえば、バージョン2からバージョン3に切り替えたときは自動的にバリエーション3に移る前にフィル2が演奏されることとなります。

スタイルの選択

スタイルの選択はコントロール・パネルやディスプレイから行います。

スタイル・プレイ・モードに入る

- 本機の電源を入れたときはいつでも、スタイル・プレイ・モードになります。それ以外のときはコントロール・パネルの**STYLE PLAY**キーを押してください。
- スタイル・プレイ・モードでもメイン・ページが表示されていないときは、コントロール・パネルの**EXIT**キーを押してメイン・ページに戻ってください。



コントロール・パネルでスタイル選択ウィンドウを開く

- **STYLE**キーを押してください。

ディスプレイからスタイル選択ウィンドウを開く

- ディスプレイのスタイル名が表示されている部分をタッチしてください。



スタイルを選択する

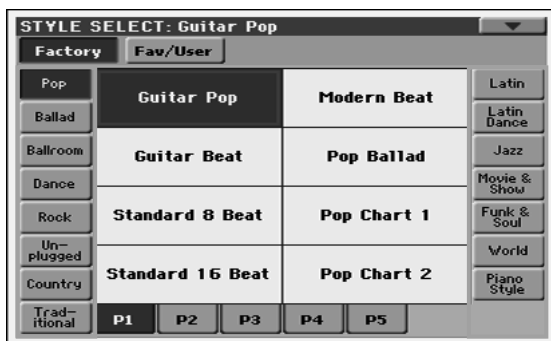
- 1 スタイル名が表示されたスタイル選択ウィンドウ(STYLE SELECT)をご覧ください。



- ウィンドウの上部にあるボタンをタッチしてスタイルのタイプを選びます。

スタイルのタイプ	意味
Factory	標準スタイルのバンクです。エディットできません。
User	外部デバイスからの読み込んだスタイル、新規スタイル、エディット・スタイル保存しているバンクになります。
Favorite	ユーザー・スタイル・バンクのスタイルのバンク名を自由に変更できます。

- ウィンドウの両サイドにあるボタンをタッチして、異なるグループのスタイルを選びます。



- ウィンドウの下にあるP1…P5のタブをタッチして異なるスタイルのグループ・ページを選びます



STYLEキーを何度か押して、異なるページを選ぶこともできます。

- 2 選択するスタイル・ネームをタッチします。

- 3 スタイルを選択したあと**EXIT**キーを押して、スタイル選択ウィンドウを閉じます。ただし**Display Hold**がオフの場合は、**EXIT**キーを押さなくても、スタイルを選択したあと操作をしないでいると、数秒後に自動的にウィンドウが閉じます(35ページ「ディスプレイ・ホールド」参照)。

ウィンドウが閉じると、選択したスタイルが表示されたメイン・ページが表示されます。

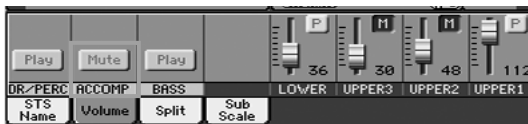


ピアノ・スタイル

Piano Styleバンクのスタイルを選ぶと手軽に自動伴奏を楽しむことができます。右手でメロディー・ラインの練習をする場合などに、ベースとドラムとピアノのクラシック・ジャズ・トリオのようなシンプルな左手の伴奏が提供されます。



メイン・ページの**Volume**タブをタッチして表示される**Volume**パネルの**Mute/Play**ボタンをタッチして、各伴奏パートをミュートすることができます。たとえば、**ACCOMP**(伴奏)グループをミュートして、ドラムとベースだけにすることができます。



スタイルの再生

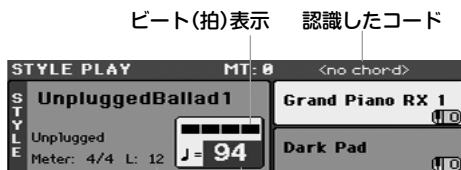
再生の開始と停止

伴奏の開始と停止をコントロール・パネルで行います。

伴奏の開始

- 1 コントロール・パネルの**START/STOP**キーを押します。
- 2 右手でメロディーを弾きながら、左手でコードを弾きます。

伴奏を再生しているときに、ディスプレイの各表示が変化することを確認できます。



ビート(拍)表示 認識したコード

パターンの小節の長さ テンポの値

伴奏の停止

- コントロール・パネルの**START/STOP**キーをもう一度押します。

シンクロ・スタート/ストップ機能(自動開始/停止)

コントロール・パネルの**START/STOP**キーを押さなくても、伴奏を自動的に開始、停止することができます。これにより伴奏の開始と停止のタイミングを気にせずに演奏に専念することができます。

伴奏を自動的に開始する(シンクロ・スタート)

- 1 コントロール・パネルの**SYNCHRO**キーを押して**START**のLEDだけを点滅にします。
 - 2 コードを弾いてください。**START**のLEDが点灯に変わり自動的に伴奏が開始します。
- コントロール・パネルの**START/STOP**キーを押して伴奏を停止します。

伴奏を自動的に開始、停止する(シンクロ・スタート、ストップ)

- 1 コントロール・パネルの**SYNCHRO**キーを何度か押して**START**のLEDを点滅、**STOP**のLEDを点灯にします。

- 2 コードを弾いてください。**START**のLEDが点灯に変わり、**STOP**のLEDが点滅に変わって自動的に伴奏が開始します。
- 3 コードを弾くと伴奏が自動的に開始されるので、鍵盤を弾いて演奏をします。
- 4 鍵盤から手を放して演奏をやめると、伴奏が自動的に停止します。

伴奏を自動的に停止する(シンクロ・ストップ)

- 1 コントロール・パネルの**SYNCHRO**キーを何度か押して**STOP**のLEDだけを点灯にします。
- 2 コントロール・パネルの**START/STOP**キーを押してください。**STOP**のLEDが点滅に変わって自動的に伴奏が開始します。鍵盤を弾いて演奏をします。
- 3 鍵盤から手を放して演奏をやめると、伴奏が自動的に停止します。

シンクロ・スタート/ストップ機能の解除

- コントロール・パネルの**SYNCHRO**キーを何度か押して**START**と**STOP**のLED両方を消灯します。

イントロの選択

イントロの紹介です。**Intro 1**はコード展開のあるシーケンスです、イントロ演奏中に演奏者はコードを変更する必要がありません。**Intro 2**はコード展開の無いシーケンスとなっていて演奏したコードに応じて伴奏が変化します。**Intro 3**は通常1小節のリズムによるカウント・インになっています。

スタイル・エレメント	内容
Intro 1	事前に記録されたコード・シーケンスとメロディーに基づくイントロ
Intro 2	認識したコードに基づくイントロ
Intro 3	1小節のカウント・イン

- コントロール・パネルのスタイル・エリアのいずれかの**INTRO**キーをしてオンにします。このときキーのLEDが点灯して、伴奏の開始の準備が整ったことを知らせています。

このときイントロの伴奏の演奏を始めてから、終わりまでの小節の長さがディスプレイの**L**パラメーターに表示されます。

フレーズ・メロディー (Verse)やサビ(Chorus)のバリエーションの選択

各スタイルには4種類のバリエーションがあり、それぞれを曲のAメロやBメロ、サビのように使用できます。各バリエーションは、少しずつ違った形になっています。バリエーション1からバリエーション4になるに従ってアレンジが複雑になります。通常バリエーション1は初めのメロディー (Aメロ)、バージョン4は最後のサビ(ラスサビ)などに使います。

スタイル・エレメント	内容
Variation 1	メロディー (Verse)、つなぎ(Bridge)、サビ(Chorus) : 簡素
Variation 2	メロディー (Verse)、つなぎ(Bridge)、サビ(Chorus) : やや複雑
Variation 3	メロディー (Verse)、つなぎ(Bridge)、サビ(Chorus) : 複雑
Variation 4	メロディー (Verse)、つなぎ(Bridge)、サビ(Chorus) : 高度で複雑

- イントロの演奏中に、最初に演奏するいずれかの**VARIATION**キーを押してください。キーのLEDが点滅して演奏の準備が整ったことを知らせています。

イントロの演奏が終わると、バリエーションの演奏が開始します。このときバリエーションのキーのLEDが点灯します。

伴奏が流れている間は、ディスプレイのLパラメーターでバリエーションの長さを確認することができます。

フィルの自動選択

本機はバリエーションを選んだ時に自動的に同じナンバーのフィルを選ぶことができます。

スタイル・エレメント	内容
Fill 1	フィル(簡素)
Fill 2	フィル(標準)
Fill 3	フィル(手数が多)
Fill 4	フィル(手数が多くより複雑)

このときフィルの伴奏の演奏を始めてから、終わりまでの小節の長さがディスプレイのLパラメーターに表示されます。

オートフィル機能をオンにする

- コントロール・パネルの**AUTOFILL**キーを押してLEDを点灯させます。

バリエーション切り替え時の自動フィル再生

- いずれかの**VARIATION**キーを押します。初めに選んだバリエーションと同じナンバーのフィルも自動的に選択されます。たとえば、バージョン2からバージョン3に切り替えたときは自動的にバリエーション3に移る前にフィル2が演奏されることとなります。

オートフィル機能をオフにする

- 機能をオフにするときは、**AUTOFILL**キーをもう一度押してLEDを消灯します。

ブレイクの選択

ブレイクはソング演奏中にリズムやメロディーを一時的に止める（無音のフレーズを入れる）ことです。これによりソングの表現を豊かにすることができます。

スタイル・エレメント	内容
Break	1つの無音小節

- 演奏中のバリエーションの終わりが近づいたときに、**BREAK**キーを押して無音演奏の小節を1ついれます。

エンディングの選択

ソングのエンディングを選択します。**Ending 1**はコード展開のあるシーケンスになっていて、前もって用意されてコードとメロディーになります。**Ending 2**は演奏したコードに応じて伴奏が変化します。**Ending 3**は他のものとは違い、バリエーションが終わらなくても、選ぶと2小節前後の短いエンディングで停止します。

スタイル・エレメント	内容
Ending 1	コード展開のあるシーケンスになっていて、エンディング演奏中に演奏者はコードを変更する必要がありません。
Ending 2	バリエーション1～4と同様に、コード展開の無いシーケンスとなっていて演奏したコードに応じて伴奏が変化します。
Ending 3	通常2小節前後の短いもので、押すと短いエンディングで停止します。

- バリエーションの演奏中にコントロール・パネルのスタイル・エリアのいずれかの**ENDING**キーを押してオンにします。

エンディングの演奏が終わると自動的にスタイルの演奏は終わります。

このときエンディングの伴奏の演奏を始めてから、終わりまでの小節の長さがディスプレイのLパラメーターに表示されます。

ループ演奏

イントロやエンディングを既定のパターンより長く演奏したいときは、ループ演奏をさせることができます。

ループ演奏設定

- ループ演奏をするイントロ、またはエンディングのキーを2回押します。キーのLEDが点滅にかわり、パターンの繰り返しが始まります。

ループ演奏をやめる

どちらかの方法を選びます

- 点滅しているLEDのキーをもう一度押します。
- 別のスタイル・エレメント(イントロ、バリエーションなど)を選びます。

キーを押している間ループ演奏を維持する

- ループ演奏を維持する間イントロ、またはエンディングのキーを押し続けます。キーから指を離すとループ演奏が終了します。
- ループ演奏をするフィルに対応するバリエーションのキーを押し続けます。キーから指を離すとフィルのループ演奏が終了して、バリエーションの再生が始まります。

鍵盤演奏(キーボード・トラック)と伴奏(アカンパニメント)の音量バランスの調節

伴奏に対してソロ演奏のように目立たせたり、バランスよく演奏したりするために、鍵盤演奏と伴奏の音量バランスを調節することができます。

鍵盤音色と伴奏のバランス調節

- **BALANCE**ノブでスタイル再生時の鍵盤演奏(KBD)と伴奏(ACC)の音量バランスを調節します。

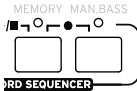
コード・シーケンサー

コード・シーケンスの記録

コード・シーケンサーに記録したコード進行は、電源をオフにするまで保持されます。

コード・シーケンスの記録

- 1 コントロール・パネルの**START/STOP**キーを押してスタイルの再生を始めます。
- 2 **CHORD SEQUENCER**エリアの記録(●)キー2つ(**BASS INV.**と**M.BASS**)を同時に押して記録を開始します。



- 3 コード・シーケンサーの録音は次の小節の先頭から始まります。録音中は赤く点滅したアイコンがディスプレイに表示されます。



- 4 コード・シーケンスが終わったら、記録(●)キー2つ(**BASS INV.**と**M.BASS**)を同時に押して記録を終了します。

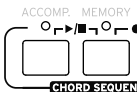
記録をしたあと切れ目なくコード・シーケンスの再生にすぐに行きたいときは記録の終了(手順4)は行わないで、以下の「コード・シーケンスの再生」の手順1からすぐに行ってください。

コード・シーケンスの再生

記録したコード・シーケンスを再生します。録音したコード進行に従ってスタイルが演奏されます。

記録したコード・シーケンスの再生

- 1 **CHORD SEQUENCER**エリアの再生/停止(▶/■)キー2つ(**MEMORY**と**BASS INV.**)を同時に押して再生を開始します。



2つのキーのLEDが点滅します。この時、コード・シーケンサーは次の小節から再生をスタートします。記録したコード進行に従ってスタイルが演奏されます。

58 | スタイル・プレイ

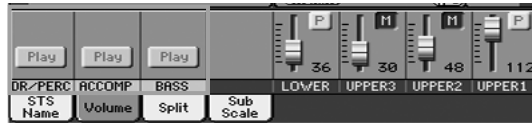
- 2 コード・シーケンサーの再生中にソロ演奏をします。
コード・シーケンサーがループ再生中は、左手でコードを演奏している場合と同様に、フィルインやバリエーションを自由に選択できます。
- 3 **CHORD SEQUENCER**エリアの再生/停止(▶/■)キー2つ(**MEMORY**と**BASS INV.**)を同時に押して再生を停止します。
別の方法として、コントロール・パネルの**START/STOP** (▶/■) キーを押して、コード・シーケンスと自動伴奏の両方を停止します。
コード・シーケンサーに記録したコード進行は、次に記録をするか、または本機の電源をオフにするまで記憶されています。

伴奏サウンドのミキシング

伴奏サウンドのグループ

伴奏サウンドはグループ化されています。これにより、ギターやストリングス・パートなどを個別にミュートするのではなく、伴奏 (ACCOMP) グループとしてワンタッチでミュートすることができます。

伴奏サウンドのグループはメイン・ページの**Volume**タブをタッチしたときの**Volume**パネルに表示されます。



伴奏パートのグループのミュート

グループの伴奏サウンドをオフにする(ミュート)

- ミュートしたいグループがプレイになっている場合は**Play/Mute**アイコンをタッチしてミュートにします。



グループの伴奏サウンドをオンにする(プレイ)

- プレイにしたいグループがミュートになっている場合は**Play/Mute**アイコンをタッチしてプレイにします。



伴奏サウンドを個別にオン、オフにする

伴奏サウンドの中に音を出したくないサウンド・パートがある場合はそれらをミュートすることができます。たとえば、ライブで自分のピアノ・サウンドで演奏するため、伴奏の中に含まれるピアノ・パートの音をミュートする場合などです。

伴奏パート・ミキサー

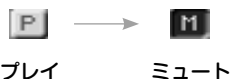
- メイン・ページの**Volume**タブをタッチして、コントロール・パネルの**TRACK SELECT**キーを押して伴奏パートの**Volume**パネルに切り替えます。



伴奏パート

伴奏パートのプレイ/ミュート

- ミュートしたいサウンドのパートがプレイになっている場合は**P/M**アイコンをタッチしてミュートにします。



プレイ ミュート

- プレイにしたいサウンドのパートがミュートになっている場合は**P/M**アイコンをタッチしてプレイにします。



ミュート プレイ

メイン・ページに戻る

- 設定が終わったら、**TRACK SELECT**キーをもう一度押して伴奏サウンドのグループの**Volume**パネルを表示したメイン・ページに戻ります。

10 ソングの再生

ソングの選択

MIDIソングとは

MIDIソングは、専門的にはスタンダードMIDIファイル (SMF) と呼ばれています。ファイル名の拡張子は「.mid」です。

スタンダードMIDIファイルは、どのメーカーとも共通性のある業界標準規格フォーマットで、本機の演奏やMIDIソングの録音に使用するネイティブ・ファイル・フォーマットです。

SMFの拡張フォーマットの拡張子が「.kar」の歌詞を含んだカラオケ・ファイルも使用できます。



MIDI ソング ディスク内の
MIDファイル KARファイル

MP3ソングとは

MP3ソングは、正式にはMPEG-1 Audio Layer-3と呼ばれるもので通常MP3と略されています。ファイル名の拡張子は「.mp3」です。これは音質の劣化を最小限に抑えつつ、ファイル容量を小さくするのに適した圧縮オーディオ・ファイルです。一般的に高いレート (bit/s) のMP3ファイルは、非圧縮オーディオ・ファイルとの音質の差が少なく、聞き分けるのは難しいものです。本機はMP3ファイルを再生したり、録音することができます。

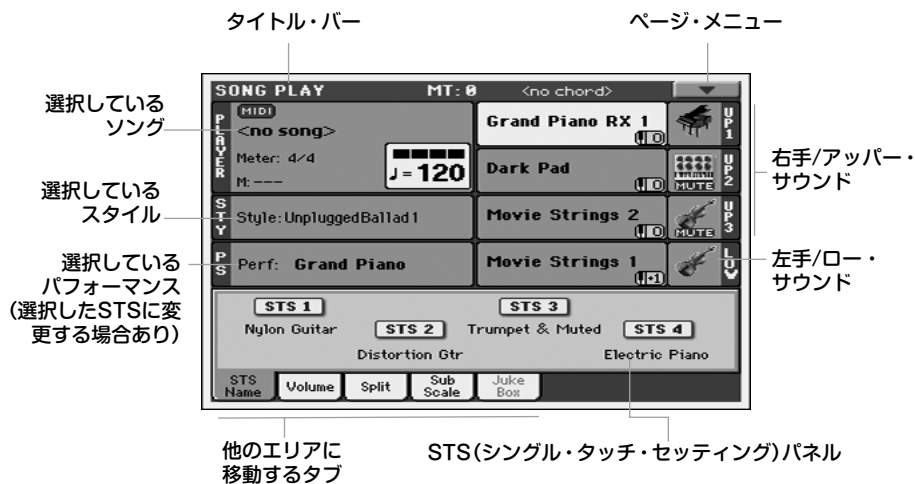


MP3 ソング ディスク内の
MP3ファイル

リストからソングを選ぶ

ソング・プレイ・モードに切り替える

コントロール・パネルのSONG PLAYキーを押します。

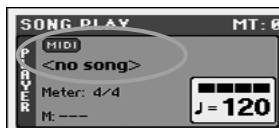


コントロール・パネルからソング選択ウィンドウを開く

- SONGキーを押します。

ディスプレイからソング選択ウィンドウを開く

- ディスプレイのソング名が表示されている部分をタッチします。



ソング・リストの確認

保存先デバイスを選んでソング選択ウィンドウ (Song Selection) で選択するファイルを見つけます。



- 保存先デバイス・メニューでデバイスを選択します。
選択するソングが外部のUSB機器に保存している場合は、そのUSB機器を**USB Host**ポートに接続してください。

デバイス	タイプ
DISK	内蔵メモリー
USB	USB Hostポートに接続されたUSB機器(別売)

デバイスの実際の名前(ラベル)はカレント・パスの角括弧内に表示されます。

- スクロール・バーまたは**VALUE**ダイヤルを使って、リスト内のすべてのソングを確認できます(ダイヤルを使用する前に、任意のアイテムをタッチしてください)。
- **Open**ボタンをタッチして、フォルダー / ディレクトリーを開くことができます。
- **Close**ボタンをタッチして、1つ上のフォルダー / ディレクトリーに戻ることができます。
- **Locate**ボタンをタッチすると、選択したソングが含まれるフォルダー / ディレクトリーにジャンプすることができます。

異なるアルファベット順の名前が付いたソングにジャンプする

- 1 リストの一番上の名前前のラベルをタッチします。
- 2 コントロール・パネルの**SHIFT**キーを押しながら、上下のスクロール・アローをタッチすると、現在表示されている部分から前、または次のアルファベット順の名前が付いたソングにジャンプできます。

リストの並び順を変える

- リスト上段のラベル (**Type**、**Name**、**Size**、**Date**) の1つを選択することで、並び順の条件を変えることができます。
- それぞれのラベルをタッチするたびに、リストのファイルが昇順、降順に切り替わります。

ソングの選択

- 1 選択するソングの名前をタッチして選び反転表示にします。
- 2 **Select**ボタンをタッチします。すでにソングが再生されている場合は、再生が停止して新しいソングの再生を開始できる状態になります。ソング・プレイ・モードのメイン・ページに戻ります。

選んだソングがソング・エリアに表示されます。

- **MIDIソングの場合:**



- **MP3ソングの場合:**



ソングの再生

ソングの再生コントロール

ソングの再生を開始する

- **START/STOP (▶/■)** キーを押します。このときキーのLEDが点灯します。ソングの再生中は、現在の位置がディスプレイのインジケータに表示されます。また、キーのLEDは拍子に合わせて最初の拍では赤く、そのほかの拍では緑で点灯します。

ソングの早送り (FF)

- 早送り (▶▶) キーを1回押すと、その時再生していたソングの1小節後に移動 (MIDI ソング)、または1秒後に移動します (MP3ソング)。
- 早送り (▶▶) キーを長押しすると、キーを離すまで早送りの動作を行います。

ソングの早戻し (REW)

- 早戻し (◀◀) キーを1回押すと、その時再生していたソングの1小節前に移動 (MIDI ソング)、または1秒前に移動します (MP3ソング)。
- 早戻し (◀◀) キーを長押しすると、キーを離すまで早戻しの動作を行います。

再生の一時停止と再開

- ソングの再生中に **START/STOP (▶/■)** キーを押すとその位置で停止します。このときキーのLEDが消灯します。
- もう一度 **START/STOP (▶/■)** キーを押すと停止していた位置から再生を再開します。このときキーのLEDが再点灯します。

ソングの最初に戻って再生を止める

- 再生を止めてソングの初めに戻るときは、ホーム (◀) キーを押します。このとき **START/STOP (▶/■)** キーのLEDが消灯します。

鍵盤演奏(キーボード・トラック)とソング再生(ソング・トラック)の音量バランス調節

バックグラウンド再生に対してソロ演奏のように目立たせたり、バランスよく演奏したりするために、鍵盤演奏とソング再生の音量バランスを調節することができます。

演奏と再生のバランス調節

- **BALANCE** ノブでソング再生時の鍵盤演奏(KBD)とソング(SONG)の音量バランスを調節します。

MIDIソングの各サウンドのミュート

鍵盤で演奏するときMIDIソングの各サウンドのミュート/プレイを選ぶことができます。自分で演奏したり歌ったりするために該当するトラックをミュートすることができます。通常MIDIソングのメロディー・トラックは4になります。

ソング・トラックの表示

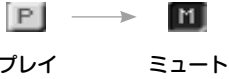
- メイン・ページを表示しているときに、**Volume** タブをタッチして選び、**Volume** パネルを表示します。このとき、コントロール・パネル **TRACK SELECT** キーを一度押すとソング・トラック1から8(T01～T08)が、もう一度押すとソング・トラック9～16(T09～T16)が表示されます



ソング・トラック

ソング・トラックのミュート/プレイ

- プレイ中のサウンドをミュートするときは、**P/M**アイコンをタッチしてミュートにします。



- サウンドのミュートを解除するときは、**P/M**アイコンをタッチしてプレイにします。



メイン・ページに戻る

- 設定が終了したら、再び**TRACK SELECT**キーを押してメイン・ページに戻りキーボード・トラックのサウンドを確認します。

フォルダー内のすべてのソングの再生

フォルダー内のすべてのソングを再生する

コントロール・パネルからソング選択ウィンドウを開く

- **SONG**キーを押します。

ディスプレイからソング選択ウィンドウを開く

- ディスプレイに表示されているリストのソング名をタッチします。

再生するソングを含んだフォルダーの選択

- 1 再生するソングを含むフォルダーを閲覧して見つけたら、そのフォルダーを開きます。
- 2 **Play All**ボタンをタッチしてフォルダー内のソングをすべて選択します。
なお再生するソングの順番はリストの表示順になります。

リストのソング再生

- 3 開始、停止はコントロール・パネルの**START/STOP**(▶/■)キーを押します。
- 4 またプレーヤー・エリアのキーを使ってソングの再生をコントロールします。

ソング間の移動

- リストの次のソングにジャンプするときはコントロール・パネルの**SHIFT**キーを押しながら早送り(▶▶)キーを押します。
- リストの前のソングにジャンプするときはコントロール・パネルの**SHIFT**キーを押しながら早戻し(◀◀)キーを押します。
- ホーム(◀)現在再生中のソングの先頭に戻ります。

11 歌詞、コード、楽譜、 マーカー

歌詞とコードの表示

歌詞とコードはどこに含まれているか？

MIDIソングの歌詞とコード

歌詞とコードはMIDIソングの中に含まれています。これらはMIDIイベントとして含まれます。

MP3ソングの歌詞とコード

歌詞はMP3ソングの中に含まれています。これらはID3/Lyrics3およびID3/ Framesタグとして含まれています。歌詞とコードはMP3ファイル同時にロードされるCDGファイルに含まれる場合もあります。

外部テキスト・ファイルの歌詞とコード

歌詞とコードがMIDIソングやMP3ソングに関連付けられた.txtファイルに含まれています。ソングを再生している間でも、このテキスト・ファイルをロードすることができます。

ソングブック・エントリーにリンクしたテキスト・ファイルの歌詞とコード

ソングブックのエントリーにリンクされているテキスト・ファイルに含まれています。

ソングに含まれている歌詞とコードの表示

歌詞ページを開く

- コントロール・パネルの**LYRICS**キーを押します。歌詞ページが表示されます。



歌詞の表示

- MIDIソングやMP3ファイルに歌詞データが内蔵されている場合は、それらを再生すると歌詞がディスプレイに自動的にスクロール表示されます。歌詞はソングの進行に合わせて反転表示になります。

テキスト・サイズの調節

- 歌詞ページの**ABC**ボタンをタッチすると文字の大きさが変わります。

MIDIソングのコード・ネームの表示

歌詞イベントに含まれているコード・ネームの表示、非表示ができます。

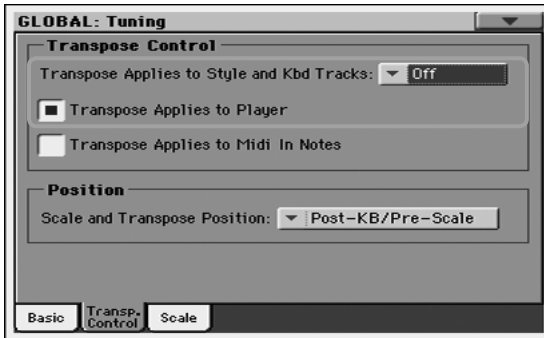
- 歌詞ページの**Chord**ボタンがタッチ状態になっているときはコード・ネームが表示されます。コード・ネームはソングの進行に合わせて歌詞の上に表示されます。
- 歌詞ページの**Chord**ボタンがタッチしてない状態になっているときはコード・ネームが表示されません。

コードのトランスポーズ

ソングをトランスポーズした場合、自動的にトランスポーズしたコード・ネームも変更することができます。ただし、この場合のマスター・トランスポーズの設定はキーボードには反映されず、プレーヤー（ソング）のみが有効となります。

コードのトランスポーズを有効にする

- 1 GLOBAL > Tuning > Transpose Controlページを表示します。
- 2 Transpose Applies to Style and Kbd Tracksをオフ(チェックなし)にして、Transpose Applies to Playerをオン(チェック)にします。



テキスト・ファイルとしてロードした歌詞とコードの表示

リンクされたテキスト、またはテキスト・ファイルとしてロードされている場合はソングの進行に合わせて自動的にスクロール表示されません。次の方法で手動スクロール表示をしてください。

表示されているテキストのスクロール

- コントロール・パネルのVALUEダイヤルかディスプレイのスクロール・バーを使います。

ソングと同じ名前のテキスト・ファイルをロードする

MIDIソングやMP3ソングは同じ名前の歌詞とコードが含まれているテキスト・ファイルを持つ場合があります。例えば、MySong.txtというテキスト・ファイルがMySong.midやMySong.mp3ファイルと同じフォルダーにある場合、ソング・ファイルをロードすると歌詞のテキスト・ファイルも一緒にロードされます。また、テキスト・ファイルは等幅フォント(Courier、Courier New、Monaco、Letter Gothic、Lucida Sans、Menlo、Monaco、Vera Sans等)で作成されたもののみが使用でき、歌詞ページのABCボタンで文字サイズを小にした場合、1行の最大文字数は41文字までです。文字サイズを大にした場合の1行の最大文字数は24文字までです。

ソングブック・エントリーにリンクしたテキスト・ファイル

ソングブック・エントリーにテキスト・ファイルを持つ場合があります。テキストのフォーマット・ルールは上記に準じます。

手動で歌詞とコードの外部テキスト・ファイルをロードする

スタイルやソングに歌詞やコードの情報がない、または関連テキストがない場合は、スタイルやソングを選択した後からテキスト・ファイルをロードすることができます。

手動でのテキスト・ファイルのロード

下記の場合はコントロール・パネルの**LYRICS**キーを押すと「No lyrics. ...」のメッセージが表示されます。

- スタイル・プレイ・モードの場合
- ソングに歌詞やコードの情報がない場合
- スタイルやソングに関連テキストがない場合



下記のように対応してください。

- コントロール・パネルの**SHIFT**キーを押しながらディスプレイの中央をタッチします。するとファイル選択画面が表示されるので、必要なテキスト・ファイルを選択してロードします。

ロードしたCDGファイルの歌詞とコードの表示

CDGファイルはMP3ソングに同期して変わるグラフィック・ファイルです。

CDGファイルの歌詞とコードの表示

- 歌詞ページの**CDG**ボタンがタッチされた状態であることを確認してください。

ソングと同じ名前のテキスト・ファイルをロードする。

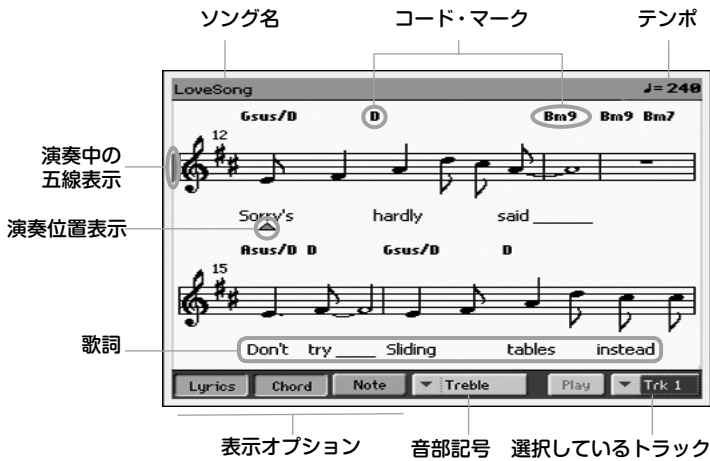
MP3ソングは同じ名前の歌詞とコードが含まれているCDGグラフィック・ファイルを持つ場合があります (MP3+G Song format)。例えば、**MySong.cdg**というテキスト・ファイルが**MySong.mp3**ファイルと同じフォルダーにある場合、ソング・ファイルをロードすると歌詞のCDGファイルも一緒にロードされます。

楽譜の表示

楽譜の作成と表示

楽譜の作成

- 1 ソング・プレイ・モードでMIDIソングを選んで再生します。
- 2 コントロール・パネルの**SCORE**キーを押して楽譜ページを表示します。選択したトラックの楽譜が生成されます。
トラックの内容によって音符やコードが表示されます。



異なるトラックを選ぶ

- ディスプレイ右下のポップアップ・メニューから表示するトラックを選びます。一般的に、メロディーはトラック4に割り当てられています。

音部記号を選ぶ

- ディスプレイ下のポップアップ・メニューから音部記号を選びます。通常、正しい音部記号がスコア・ジェネレーターで自動的に割り当てられます。

音部記号名	意味
Treble	一般的なト音記号です。
Treble+8	ト音記号で1オクターブ上にトランスポートした状態です。
Treble-8	ト音記号で1オクターブ下にトランスポートした状態です。
Bass	一般的なヘ音記号です。
Bass-8	ヘ音記号で1オクターブ下にトランスポートした状態です。

楽譜ページを終了する

- 楽譜ページを終了するには、**SCORE**キーまたは**EXIT**キーを押します。

見やすい楽譜表示

本機では楽譜を見やすくするために重なっている音の非表示、クオンタイズ、シンコペーション、キーや音部の判定などの様々な処理が自動的に行うスコア・ジェネレーターを搭載しています。このためクオンタイズを行ってないトラックでも非常に見やすい楽譜として表示されます。

なお、選択したソングのマスター・トラックの冒頭部にキー・サイン (Key Signature) イベントがある場合は、それに従って調号 (楽譜の先頭にある # や b) も表示されます。

ソングの位置表示

いつでも下記の表示を見ることで楽譜のどの位置が再生されているのかを確認することができます。

- 赤い垂直のバー表示は、現在演奏中の五線を示しています。
- 赤い三角表示は、現在の演奏位置を示しています。

歌詞、コード・ネーム、ノート・ネームの表示

歌詞の表示

- ディスプレイの表示オプションの**Lyrics**ボタンをタッチして歌詞 (が含まれている場合) の表示、非表示を選びます。

コードの表示

- ディスプレイの表示オプションの**Chord**ボタンをタッチしてコード・ネーム (が含まれている場合) の表示、非表示を選びます。

コード・ネームは、本機全体の表示言語選択に従って英語式 (A、B、C・・・) またはイタリア語式 (Do、Re、Mi・・・) のどちらかで表示されます (GLOBAL > General Controls > Interfaceページ参照)。

ノート・ネームの表示

- ディスプレイの表示オプションの**Note**ボタンをタッチしてノート・ネームの表示、非表示を選びます

コード・ネームは、本機全体の表示言語選択に従って英語式 (A、B、C・・・) またはイタリア語式 (Do、Re、Mi・・・) のどちらかで表示されます (GLOBAL > General Controls > Interfaceページ参照)。

選択したトラックをミュートする

選択トラックのミュート

- 選択トラックの右の**Play**または**Mute** () ボタンをタッチして選択トラックの発音、ミュートをえらびます。

ライブなどで自分で演奏したり歌唱するトラックをミュートします。これにより本機から流れる演奏と重複するのを防ぐことができます。

楽譜とトランスポーズ

楽譜のページではMIDIのノート情報に基づいて表示します。このため**TRANSPOSE**キーやトラックのトランスポーズを使用しても楽譜表示には反映されません。

マーカーを使ったソング内の移動

マーカーの使用

本機はMIDIソングに含まれるソング・マーカー・イベントを読み取ることができます。それらはマーカー・ページに表示されます。

マーカーへの移動

- 1 ソング・プレイ・モードに入り、**MARKER**キーを(**LYRICS**キーと**SCORE**キーを同時に)押して、マーカー・ページを表示します。
- 2 **START/STOP** (▶/■) キーを押してソングの再生を開始します。
ソングの再生をしなくてもマーカー・ポイントへ移動できます。
- 3 マーカー・リストに表示されているマーカー・ポイントのうち、ジャンプしたいポイントをタッチします。するとソングの演奏中の場合は次の小節からタッチしたマーカー・ポイントに移動します。

マーカー・リストの自動スクロール

Auto Scroll チェック・ボックスにチェックを入れておくと、マーカー・リストが曲の進行に合わせて自動的にスクロールします。ソングの演奏中にリアルタイムでジャンプさせたいマーカー・ポイントを指定する際に便利です。

繰り返し演奏の先頭をマーク

繰り返し練習をするときに便利のように、開始小節に移動するマークを追加することができます。

- 1 ソングの再生を開始して**Add** ボタンをタッチして新しいマーカー・ポイントを作ります。
通常、マーカーは実際の練習開始位置の1、2小節前に設定します。
- 2 再生を開始して、練習を始める小節の前の移動先のマーカー・ポイントを選び移動します。
- 3 必要なくなったマーカー・ポイントは削除してください。ただし違うソングを選んだり、電源を切ると保存していないマーカーは自動的に削除されます。

マーカーの設定と削除

MIDIソングに独自にマーカー・ポイントを追加して、MIDIファイルとして保存することができます。

マーカー・ページの表示

- ソング・プレイ・モードに入り、**MARKER**キーを(**LYRICS**キーと**SCORE**キーを同時に)押して、マーカー・ページを表示します。



マーカーの追加

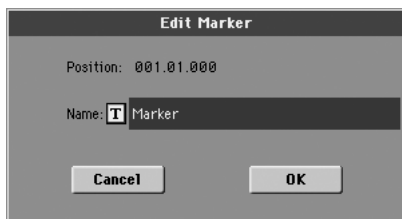
- 1 **START/STOP (▶/■)**キーを押してソングの再生を開始します。
ソングの再生をしなくてもマーカーは追加できますが、再生中にリアルタイムで追加したほうが簡単です。
- 2 マーカーを入れたい位置になったら、ディスプレイにある**Add**ボタンをタッチします。
 - マーカーを入れたい小節の2拍目が再生される前に**Add**ボタンをタッチすると、その小節の先頭にマーカー・ポイントが追加されます。
 - マーカーを入れたい小節の最終拍までに**Add**ボタンをタッチすると、その次の小節の先頭にマーカー・ポイントが追加します。
- 3 他の場所にもマーカーを入れたい場合は、手順2の要領でマーカー・ポイントを追加します。
- 4 **START/STOP (▶/■)**キー押してソングの再生を停止します。

マーカーの削除

- 1 マーカー・リストの削除したいマーカー・ポイントをタッチして選択します。
- 2 ディスプレイの**Delete**ボタンをタッチして選択したマーカー・ポイントを削除します。
- 3 マーカーを保存します。後述「マーカーの保存」をご覧ください。

マーカー・ポイントのエディット

- 1 マーカー・リストのエディットをしたいマーカー・ポイントをタッチして選択します。
- 2 ディスプレイの**Edit**ボタンをタッチすると選択したマーカー・ポイントのエディットをする**Edit Marker**ダイアログ・ボックスが表示されます。



- 3 **Edit Marker**ダイアログ・ボックス上でマーカー位置や名前のエディットをします。
- 4 マーカーを保存します。

マーカーの保存

- **Save Mk**ボタンをタッチしてすべてのマーカー・ポイントを含んだMIDIファイルをもとめて保存します。
- **Markers**ページを開いていない場合は、ページ・メニューから**Save Song Marker**コマンドを選択して保存することもできます。

12 ソングブックを使う

ソングブックのエントリーを選択する

ソングブックとは

ソングブックは、スタイルやソングを整理し、簡単に検索して選択することができるデータベースです。このデータベースの各エントリーには、指定したソングのアーティスト、タイトル、ジャンル、オリジナル・キー、拍子（メーター）などの多くの情報が含まれています。エントリーのいずれかを選択すると、スタイル・プレイ・モードやソング・プレイ・モードとともに関連するスタイルやスタンダードMIDIファイル、MP3ファイルが呼び出されます。このようにソングブックは、スタイルやソングを整理し、簡単に検索して選択することができるデータベースです。

さらにライブ演奏に便利な4種類のSTSも、ソングブックの各エントリー別に設定することができます。また、スタンダードMIDIファイルやMP3ファイルに歌詞イベントが入っていない場合は、エントリーとテキスト・ファイルをリンクさせて歌詞イベントの代わりに利用したり、スタイルをバックに演奏することも可能です。

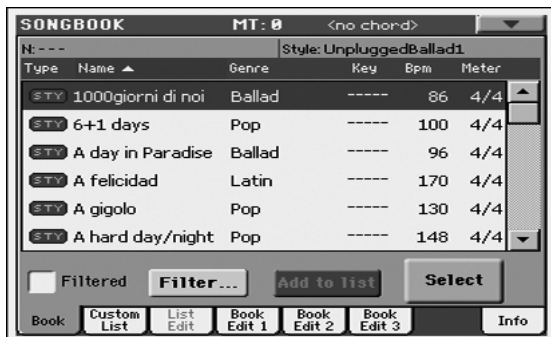
ソングブックにはエントリーとして追加したり、既存のエントリーをエディットしたりすることができます。本機には数百のエントリーがすでに収録されていますが、ソングブックを使用して、演奏スタイルに合わせ、さまざまなソングブックのカスタム・リストを作ることができます。

ブック・リストからソングブック・エントリーを選ぶ

本機には最初から大容量のデータベースを内蔵しています。このデータベースを確認しながらソングブック・エントリーを選ぶことができます。

ソングブック・エントリーを選ぶ

- 1 スタイル・プレイ・モードあるいはソング・プレイ・モードで、パネルの **SONGBOOK** キーを押してソングブック・ページを開きます。



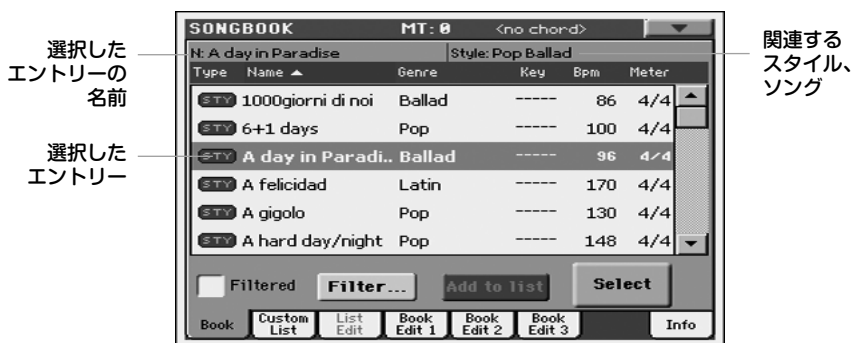
- 2 エントリーを確認します。

スクロール・バーまたは **VALUE** ダイアルを使ってリスト内を確認できます。

SHIFT キーを押しながらスクロール・バーの上下にある矢印ボタンをタッチすると、表示されているリストの前後のアルファベット順にあるリストを表示させることができます。

- 3 選択するエントリーをディスプレイに表示しているときは、それをタッチして選択(反転表示)し、**Select** ボタンをタッチして確定します。

ボタンをタッチするとタイトル・バーの下の左側 (**N:**) に現在選択しているエントリー名、右側 (**Style:** または **Player:**) にエントリーに関連するスタイル、スタンダード MIDI ファイル、または MP3 ファイルの名前が表示されます。リストには選択したエントリーが太い文字の明るい反転表示になります。






関連するスタイルやソングが呼び出されます。STSも呼び出されます。STS1が選択されます。エントリーに関連するTXTファイルがある場合は歌詞ページに表示されます。

- 4 コントロール・パネルの **START/STOP** (▶/■) キーを押して選択されたスタイルやソングの演奏開始、停止を行います。

エントリー・タイプの識別

タイプ列のアイコンでエントリーの種類が識別できます。

タイプ	意味
	スタイルがベースのエントリー。 スタイルが選択されスタイル・プレイ・モードに切り替わります。
	MIDIソングがベースのエントリー。 ソングが選択されソング・プレイ・モードに切り替わります。
	MP3ソングがベースのエントリー。 ソングが選択されソング・プレイ・モードに切り替わります。

ラベルのソート

リストの並びを変更します。

- リスト最上段のラベル(**Type, Name, Genre, Key, Bpm, Meter...**)をタッチすることでエントリー並び順の条件を変えることができます。
- それぞれのラベルをタッチするたびに、リストの表示が昇順、降順に切り替わります。

アーティストまたはジャンル、キーまたはナンバーを表示する

ディスプレイ・サイズの関係でエントリーのすべてのラベルを表示することができません。そのため、ソングブック・リストに表示するラベルを選択する必要があります。

すでにあるエントリーのアーティストとキーの項目は意図的に空にしていますので注意してください。

アーティストまたはジャンルの表示選択

- ページ・メニュー・ボタンをタッチして、ページ・メニューを開き、**Show Artist (now Genre)**“アーティストを表示”か、**Show Genre (now Artist)**“ジャンルを表示”のどちらかを選択します。

キーまたはソング・ナンバーの表示選択

- ページ・メニュー・ボタンをタッチして、ページ・メニューを開き、**Show Song Number (now Key)**“ソング・ナンバーを表示”か、**Show Key (now Song Number)**“キーを表示”のどちらかを選択します。

フィルターを使ったエントリーの検索

特定のアーティストやジャンル、その他のカテゴリーを探るとき、フィルター機能を使って検索することをお勧めします。ソングブックのエントリーはコントロール・パネルの**SEARCH**ボタンで検索することもできますが、フィルターを使用すると同時に複数の項目をより精密に検索することができます。

ダイアログ・ボックスを開く

- **SONGBOOK**ページの**Filter...**ボタンをタッチして**Filter**ダイアログ・ボックスを開きます。

フィルター条件をエディットしてフィルターを有効にする

- 1 検索したい項目の横にあるテキスト・エディット・ボタン (**T**) をタッチして、テキスト入力画面を表示し、検索する文字列を入力します。

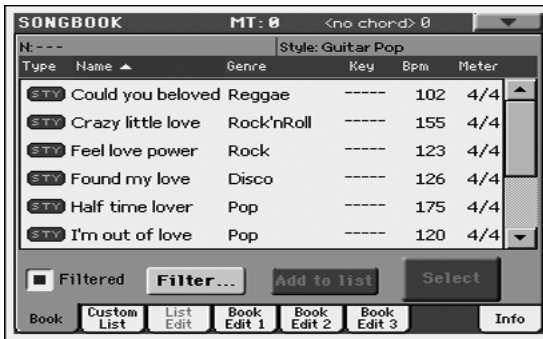
例えば、タイトルに「Love」という言葉を含むすべてのソングを探してみます。そのときは、**Name:** の横のテキスト・エディット・ボタンをタッチして「Love」という言葉を入力します。大文字/小文字は、検索には影響ありません。

名前が入力が終わったら、**OK**ボタンをタッチして、テキスト入力画面を閉じます。

- 2 検索に用いる名前を各項目に同様に入力します。
- 3 拍子やテンポの範囲を検索項目として設定することもできます。

- 4 不要なフィルター項目を削除します。
 - **Clear** ボタンをタッチすると、検索項目を削除したり初期値に戻すことができます。
 - **Clear All** ボタンをタッチすると、すべての検索項目をリセットできます。
- 5 ディスプレイの**OK**ボタンをタッチして、**Filter**ダイアログ・ボックスを閉じ、**SONGBOOK**ページに戻ります。

Filteredのチェック・ボックスには自動的にチェックが付き、フィルター機能が有効になったことを示します。リストには検索条件に合ったエントリーだけが表示されます。



フィルター条件を無効にしてすべてのエントリーを確認する

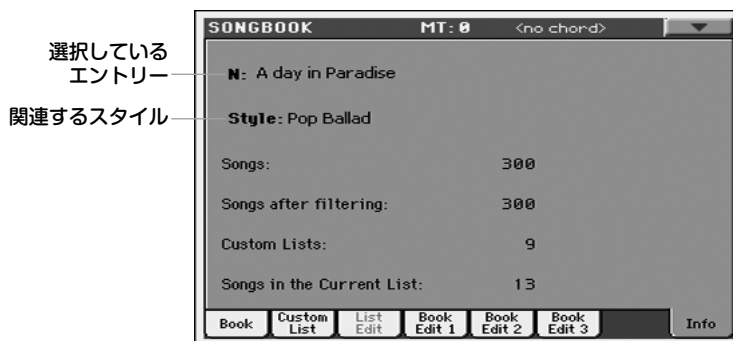
- **Filtered**のチェック・ボックスをタッチしてチェックを外します。

ソングブックのエントリー情報を確認

選択したエントリーの名前、関連するリソース、ソングブックのソング数の合計、フィルタリングされたエントリーの数、利用可能なカスタム・リストの数、および現在のリストのソング数を確認できます。

- 1 ソングブックからエントリーをタッチして選びます。
- 2 **Info**タブをタッチして**Info**ページを表示します。

スタイルがベースのエントリーの場合：



ソングがベースのエントリーの場合：



現在選択しているエントリーを示します。表示が空白 (---) のときは、選択した最新のエントリーがエディットされているか、エントリーをまだ選択していない状態です。

カスタム・リスト

カスタム・リストとは

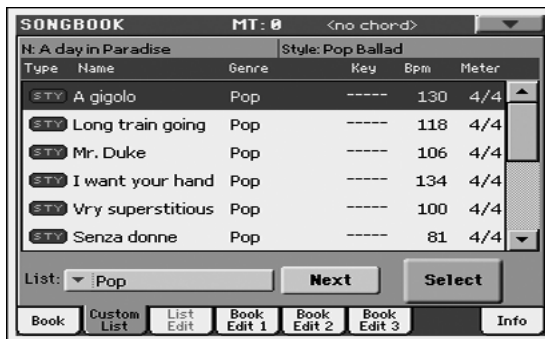
カスタム・リストとは、全ソングブック・リストからエントリーを抜き出して作成したリストのことです。これにより、好みの曲やライブごとの演奏曲を集めたコンパクトでオリジナリティのあるリストを作ることができます。なお本機にはすぐに使えるいくつかのサンプル・リストを用意しています。

カスタム・リストの使い方

サンプルのリストを使ってみましょう

カスタム・リストの選択

- 1 コントロール・パネルの**SONGBOOK**キーを押し、ディスプレイの**Custom List**タブをタッチします。



- 2 **List**ポップアップ・メニューを使って、カスタム・リストを選択します。選んだカスタム・リストの含まれるソングのリストが表示されます。

カスタム・リストを使った演奏

- 1 エントリーを確認します。
- 2 選択するエントリーを反転表示させ、ディスプレイの**Select**ボタンをタッチします。
- 3 コントロール・パネルの**START/STOP** (▶/■) キーを押し、選択されたスタイルやソングの演奏開始、停止を行います。
- 4 プレーヤー・エリアのキー (◀, ◀◀, ▶▶) を使ってスタイルやソングをコントロールします。
- 5 次のソングに移動するときは**Next**ボタンをタッチします。また、リスト上の別のエントリーを選択するときは、選択するエントリーを反転表示させ、ディスプレイの**Select**ボタンをタッチします。

13 ファイルやその他のアイテムの検索

サーチ機能

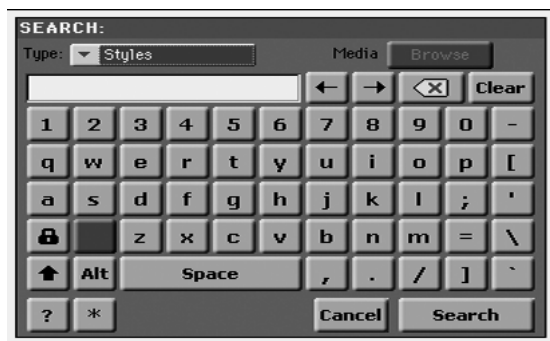
サーチ機能の使い方

各モードでサーチ機能を使うことによって、様々なタイプのデータを検索することができます。例えば、メディア・モードではファイルのみを検索でき、スタイル・プレイ・モードやソング・プレイ・モードではスタイルやソング、歌詞などを検索できます。

パフォーマンス、サウンド、スタイルの検索にはファイル・セレクターを使用します。また、表示しているページによっては、検索する対象がないためにサーチ機能が使用できないページもあります(例えば、グローバル・モードの各ページなど)。

SEARCHウィンドウを表示する

- コントロール・パネルのSEARCHキー (Q) を押してSEARCHウィンドウを開きます。



検索するファイル・タイプを選ぶ

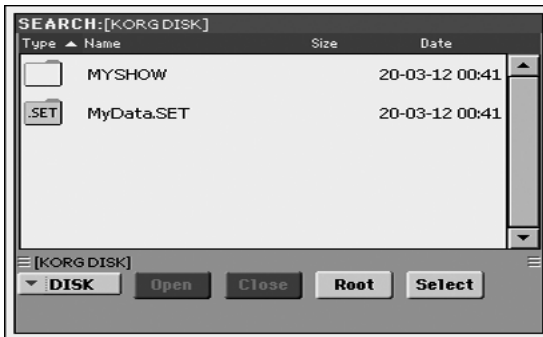
- 必要に応じて、**Type**のポップアップ・メニューをタッチし、検索したいデータのタイプを選択します。



記憶デバイスやフォルダーを選ぶ

ファイルやソング、歌詞を検索する場合は、**Browse**ボタンが使用でき、記憶デバイスやフォルダー内のファイルを検索できます。選択するタイプがファイルやソング、歌詞の場合は**Browse**ボタンが有効になり使用することができます。

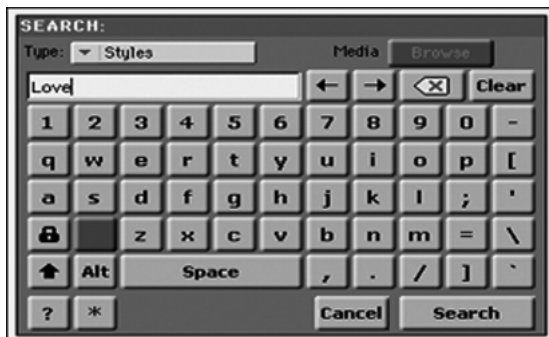
- 1 **Browse**ボタンをタッチして、ファイル・セレクターを開きます。



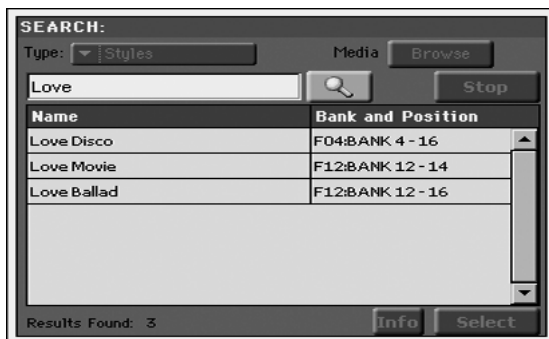
- 2 **Device**ポップアップ・メニューから検索するための保存先デバイスを選択します。**Open**と**Close**ボタンを使って選んだフォルダーを開閉します。**Root**ボタンはタッチするとデバイスのルートのトップ・レベルに移動します。
- 3 探しているファイルを含むフォルダーが見つかったら、そのフォルダーをタッチしてから、**Select**ボタンをタッチして、フォルダー・セレクターを閉じます。選択したフォルダーの名前が**SEARCH**ウィンドウのタイトル・バーに表示されます。

検索ワードを入力して検索を始める

- 1 検索するワードを入力します。検索ワードは大文字、小文字の区別は不要です (「LOVE」も「Love」も「love」も検索上は同一です)。



- 2 検索ワードを入力し終わったら、**Search**ボタンをタッチします。検索ワードに該当したファイルがリスト表示されます。



検索が完了するのに必要な時間は、デバイスのサイズやファイルの数によります。1度に検索できる項目は1つだけです。現在の検索が完了するのを待つか、**Stop**ボタンをタッチして検索を停止してから、新たな検索を行ってください。

検索の停止

- **Search**ボタンをタッチすると、**Search**ボタンが**Stop**ボタンに変わります。必要なときに、このボタンをタッチして検索を停止します。ボタンの名前が**Search**に戻ります。新しい検索を実行するまで検出されたすべてのファイルは、表示のままになります。

SEARCHウィンドウを閉じて、引き続き検索作業を行う

- ディスプレイの**Cancel**ボタンかコントロール・パネルの**SEARCH**キー (🔍) や **EXIT**キーを押してこの画面から抜けて、他の操作を行うことができます。検索はバックグラウンドで継続されます。

アイテム情報を見る

- リスト表示されたアイテムをタッチして選択し、**Info**ボタンをタッチするとそのアイテムの情報が表示されます。



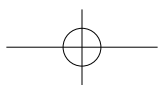
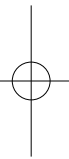
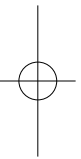
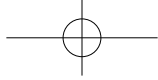
OKボタンをタッチすると**Result Info**ダイアログ・ボックスが閉じます。

検索の再開

- サーチ機能のメイン・ページに戻って、もう一度検索をしたいときは、サーチ・アイコン (🔍) をタッチします。

アイテムの選択

- または検索の結果、必要なアイテムが見つかったら、その名前をタッチし、**Select**ボタンをタッチします。



パート III: 録音

14 MP3ソングの録音

MP3ソングの録音と保存

MP3ソングを録音する

MP3レコード・モードに入る

- スタイル・プレイ・モード、またはソング・プレイ・モードのときに、**SHIFT**キーを押しながら**RECORD**キーを押します。

この時、**MP3 Record**ダイアログ・ボックスがディスプレイに表示されます。録音を開始していない場合、**Status**の欄は「Idle」と表示されます。



録音パラメーターを設定する

- **Quality:** のポップアップ・メニューを開き、録音するMP3の音質を設定します。高いレート (highest) に設定すると、高音質になり録音後のMP3ファイルの容量が大きくなります。

低いレート (Medium) で録音すると音質が少し悪化します。MP3のファイル・サイズは、常に音質とのトレード・オフの関係にあり、高音質を求める場合はそれなりのファイル・サイズになります。

- **Device**パラメーターで、録音されるMP3ファイルを一時的に保管しておく場所を設定します。

ここでの設定は、最終的にMP3ファイルを保存する場所を決めるものではなく、録音終了後に別の場所を指定することもできます。但し、ここで設定する際に、**Free space**パラメーターでMP3ファイルを保管する場所に十分な容量があるかどうかをご確認ください。なお、現在のファイルの大きさは**File length**に常に表示されます。

MP3ソングの録音を開始する

- 1 準備が完了したら、ディスプレイに表示されている**Rec**ボタンをタッチして録音を開始します。

Recボタンをタッチすると**Stop**ボタンに変わり、**Status**の表示が**Recording**になります。



- 2 演奏を始めます。

録音中は、**MP3 Record**ダイアログ・ボックスに**Recording time:** (録音時間)、**File length:** (ファイルの大きさ)、**Free space:** (録音可能なストレージの空き容量)が表示されます。

録音を停止せずMP3 Recordダイアログ・ボックスを消す

- **EXIT**キーを押すと、ディスプレイから**MP3 Record**ダイアログ・ボックスが消え、録音を停止させずに**Style Play**や**Song Play**ページに移動することができます。
- 再びダイアログ・ボックスを表示させて、ファイルの大きさの確認や録音を停止させるには、**SHIFT**キーを押しながら**RECORD**キーを押します。

録音を停止させずに**EXIT**キーを押してダイアログ・ボックスの表示を消した場合は、ディスプレイに赤いレコーディング・アイコンが点滅表示されます。



録音を停止する

- ディスプレイにある**Stop**ボタンをタッチして録音を停止させます。コントロール・パネルの**RECORD**キーを押して録音を停止することもできます。

MP3ソングに録音される内容

- キーボードでの演奏やスタイル、プレーヤーで演奏したスタンダードMIDIファイルのすべてを録音できます。
- MP3ソングの録音中はMP3ソングのロードや再生はできません。
- MP3ソングの再生中はMP3ソングを録音することはできません。

MP3ソングを保存する

MP3ソングの保存

録音を停止すると、下記のMP3ファイルを保存する場所を指定する**MP3 Record**ダイアログ・ボックスが表示されます。



- 1 テキスト・エディット・ボタン (**T**) をタッチして、録音したMP3ファイルに名前を付けます。
- 2 **Browse**ボタンをタッチして、録音したMP3ファイルを保存する場所 (**storage device, folder**)を指定します。
- 3 **Save**ボタンをタッチしてMP3ファイルを保存します。

保存したらMP3ファイルは他のソングと同様にソング・プレイ・モードで再生することができます。また、保存したMP3ファイルは、コンピューターに移動させて、再生したり編集することができます。

パート IV: 付録

15 ショートカット

SHIFTキー・ショートカット

SHIFTキーを押しながら、パネルのキーを押すことで、さまざまなページやダイアログ・ボックスへ移動することができます。以下はショートカットのリストです。

SHIFTキー +	機能
各モード	
VALUEダイヤル	テンポの設定。
スクロール・アロー	ソングまたはソングブックのエントリーのリストをアルファベット順の次か前の先頭に移動。メディア・モードでも同等の動き。
GLOBAL	GLOBAL > MIDI > General Controlsページへ移動。
MEDIA	MEDIA > Mode Preferences > Mediaページへ移動。
START/STOP	パニック・キー
SYNCHRO	GLOBAL > MIDI > General ControlsページのClock Sourceパラメーターを選択。
TEMPO LOCK	GLOBAL > General Controls > Lockページへ移動。
SONGBOOK	SONGBOOK > Custom Listページへ移動。
UPPER OCTAVE (両方押す)	Mixer/Tuning > Tuningページへ移動。
TRANPOSE (両方押す)	GLOBAL > Tuning: Transpose Controlページへ移動。
スタイル・プレイ・モード	
STYLE PLAY	GLOBAL > Mode Preferences > Styleページへ移動。
ACCOMP.	
MEMORY	
VARIATION	STYLE PLAY > Style Controls > Drum/Fillページへ移動。
ENSEMBLE	STYLE PLAY > Keyboard/Ensemble > Ensembleページへ移動。
👆(メトロノーム)	タップ・テンポの設定
RECORD	MP3 Recordダイアログ・ボックスを開く。
スタイル・レコード・モード	
TEMPO +/-	Sound/Expressionページ表示時、エクスプレッション・レベルを調整。
ソング・プレイ・モード	
SONG PLAY	GLOBAL > Mode Preferences > Song & Seqページへ移動
RECORD	MP3 Recordダイアログ・ボックスを開く。
ジュークボックス	
>>	ジュークボックス・リストの次の曲を演奏。
<<	ジュークボックス・リストの前の曲を演奏。

SHIFTキー +	機能
歌詞	
ディスプレイ	テキスト・ファイルをロード
シーケンサー・モード	
SEQUENCER	GLOBAL > Mode Preferences > Song & Seqページへ移動

キーの長押しによるショートカット

パネルのキーを約1秒間押したままにすると、さまざまなページやダイアログ・ボックスへ移動することができます。以下はショートカットのリストです。

キー	機能
各モード	
SPLIT	Split Pointダイアログ・ボックスを開く。鍵盤を押すと、新たにスプリット・ポイントが設定される。
スタイル・プレイ・モード	
STYLE	Write Current Style Settingsダイアログ・ボックスを開く。
PERFORMANCE	Write Performanceダイアログ・ボックスを開く。
SONGBOOK	新たにソングブック・エントリーを作成し、Write Songダイアログ・ボックス(ソングブックの外側をタッチしたときのみ)を開く。
STS	Write STSダイアログ・ボックスを開く。
ソング・プレイ・モード	
PERFORMANCE	Write Performanceダイアログ・ボックスを開く。
SONGBOOK	新たにソングブック・エントリーを作成し、Write Songダイアログ・ボックス(ソングブックの外側をタッチしたときのみ)を開く。
グローバル・モード	
GLOBAL	タッチ・パネル・キャリブレーションの画面を開く。

他のショートカット

他にも、**SHIFT**キーを使用しないショートカットもあります。

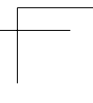
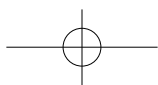
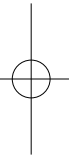
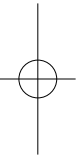
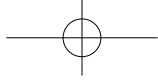
スタイル・プレイ・モード	機能
TEMPO +/- (両方)	オリジナル・テンポに戻る。
TRANSPOSE \sharp/\flat (両方)	トランスポーズを0に設定する。
UPPER OCTAVE +/- (両方)	アッパー・オクターブをオリジナルに設定する。
Record	MP3の録音中にキーを押すと、MP3 Recordダイアログ・ボックスを閉じ、録音が停止、Write Songダイアログ・ボックスを開く。

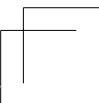
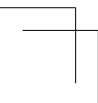
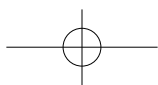
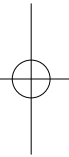
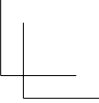
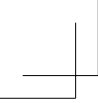
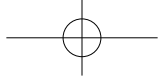
16 仕様

KORG HAVIAN 30	
鍵盤	88キー・ウエイテッド・ハンマー・アクション、ペロシティ付
サウンド	950以上(レゾナンス付ステレオ・グランド・ピアノ、レゾナンス付ステレオ・アップライト・ピアノ、レベル2互換のサウンドを含む)、64ドラムキット ユーザー・エリア：256サウンド、128ドラム・キット エディット可能なサウンドとドラムキット
音源	128ボイス、レゾナンス付きフィルター、RX (Real EXperience)
エフェクト& イコライザー	4ステレオ・マスター・エフェクト/125エフェクト・タイプ 各トラックに3バンド・イコライザー ファイナル・エフェクト：リミッター、4バンド・パラメトリック・イコライザー
コントローラー	ミニ・ジョイスティック
スタイル	ファクトリー・エリア：420プリロード・スタイル、自由に再構成可能 フェバリットとユーザー・バンクを含む使用可能な1040のスタイル
スタイル構成	スタイルごとのに8スタイル・トラックと4シングル・タッチ・セッティング(STS)、スタイル・セッティング
スタイル・ コントロール	3イントロ、4バリエーション、4フィル、1ブレイク、3エンディング、オートフィル、シンクロ・スタート/ストップ、タップ・テンポ、マニュアル・ベース、ベース・インバージョン、メモリー、アカンパニメント・ミュート、キック&スネア・デスティネーション
コード・シーケンサー	スタイルの自動演奏のための録音/再生コード・シーケンサー
その他	ギター・モード2、パラレルおよび固定ノート・トランスポーズ・テーブル、ステップ入力によるスタイル録音、トラック・エディットおよびイベント・エディット機能
パフォーマンス	240パフォーマンス(サウンド・セット)、グランド・ピアノ・パフォーマンス
STSs	スタイルによって呼び出されるサウンド・セット 最大4つのスタイル、最大4つのソングブック・エントリー
リアルタイム・トラック	4キーボード・トラック(アッパー 1、2、3、ロー)
ソング・プレイ	ソング・セレクト、スタート/ストップ、ホーム、早戻し、早送り；ジュークボックス機能 MIDIソング互換(SMFフォーマット0、1)およびMP3ソング 歌詞(CDGファイル互換)、楽譜、マーカー
MP3プレーヤー/ レコーダー	MP3トランスポーズ(+6/-5半音)、MP3テンポ・チェンジ(±30%) オーディオ(スタイル、MIDIソング、サウンドとエフェクトを含む)
シーケンサー	クイック録音(バックング・シーケンス)、マルチトラックまたはステップ録音機能。16トラック、100,000イベント、SMF対応のフル機能を備えたシーケンサー

KORG HAVIAN 30	
ソングブック	エディット可能なミュージック・データベース スタイル、SMF、カラオケ、MP3を自動選択可能なスタイル・プレイ・モードとソング・プレイ・モード、ユーザー定義可能なカスタム・リスト、フィルタリングと曲順設定オプション
検索	スタイル、ソング、パフォーマンス、ソングブック、サウンド、歌詞テキスト
互換性	Paシリーズ：スタイル、パフォーマンス、サウンド、PCMサンプル、マルチサンプル、ソング、ソングブック iシリーズ：スタイル
コントロール	ボリューム、キーボード-ACC/SEQバランス、アンサンプル、オクターブ・トランスポーズ、トランスポーズ、テンポ・ロック、クォーター・トーン/アラビック・スケール、ユーザー・スケール(パフォーマンス/STSにメモリー可能)、サーチ、歌詞、楽譜、マーカー、ダイヤル、テンポ、メトロノーム、スプリット
ディスプレイ	5インチ・カラー・タッチビュー・グラフィカル・ユーザー・インターフェイス(480×272)
コネクター	ペダル：アサイナブル・ペダル/ダンパー・ペダル (同梱DS2Hハーフ・ペダル対応) オーディオ：ヘッドホン/オーディオアウト(ステレオ・ジャック) MIDI：USBデバイスポートを使用してUSB経由でのMIDI、 8ユーザー定義可能なMIDI設定
USB	2.0 Hi Speed対応：USB-MIDIインターフェイス 1デバイス(リア・パネル)、1ホスト(リア・パネル)
マストレージ/ディスク	USB
アンプ/ スピーカーシステム	アンプ：25W×2 スピーカー：100mm×2ダブル・コーン・スピーカー、バスレフ型
電源	ACアダプター DC 19V 消費電力：26W
外形寸法(W×D×H)	1312mm×389mm×146mm(譜面台除く)
質量	15.1kg
付属品	取扱説明書、譜面台、アクセサリ・ディスク、ACアダプター、コルグDS2H(ハーフ・ペダル対応)
オプション	ダンパー・ペダル固定機能付き専用ピアノ・スタンド(ST-H30-BK) コルグDS-1H(ハーフ・ペダル対応) コルグEXP-2、コルグXVP-10 コルグPS-1、PS-3

* 仕様および外観は、改良のため予告無く変更することがあります。





アフターサービス

■ 保証書

本製品には、保証書が添付されています。

お買い求めの際に、販売店が所定事項を記入いたしますので、「お買い上げ日」、「販売店」等の記入をご確認ください。記入がないものは無効となります。

なお、保証書は再発行致しませんので、紛失しないように大切に保管してください。

■ 保証期間

お買い上げいただいた日より一年間です。

■ 保証期間中の修理

保証規定に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

本製品と共に保証書を必ずご持参の上、修理を依頼してください。

■ 保証期間経過後の修理

修理することによって性能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料で修理させていただきます。ただし、補修用性能部品（電子回路などのように機能維持のために必要な部品）の入手が困難な場合は、修理をお受けすることができませんのでご了承ください。また、外装部品（パネルなど）の修理、交換は、類似の代替品を使用することもありますので、あらかじめお客様相談窓口へお問い合わせください。

■ 修理を依頼される前に

故障かな？とお思いになったら、まず取扱説明書をよくお読みのうえ、もう一度ご確認ください。

それでも異常があるときは、お客様相談窓口へお問い合わせください。

■ 修理時のお願い

修理に出す際は、輸送時の損傷等を防ぐため、ご購入されたときの箱と梱包材をご使用ください。

■ ご質問、ご相談について

修理および商品のお取り扱いについてのご質問、ご相談は、お客様相談窓口へお問い合わせください。

WARNING!

この英文は日本国内で購入された外国人のお客様のための注意事項です

This Product is only suitable for sale in Japan. Properly qualified service is not available for this product if purchased elsewhere. Any unauthorised modification or removal of original serial number will disqualify this product from warranty protection.

株式会社コルグ

お客様相談窓口  0570-666-569

PHS等一部の電話ではご利用できません。固定電話または携帯電話からおかけください。

受付時間 月曜～金曜 10:00～17:00（祝祭日、窓口休業日を除く）

● サービス・センター：〒168-0073 東京都杉並区下高井戸 1-15-12

保証規定(必ずお読みください)

本保証書は、保証期間中に本製品を保証するもので、付属品類(ヘッドホンなど)は保証の対象になりません。保証期間内に本製品が故障した場合は、保証規定によって無償修理いたします。

1. 本保証書の有効期間はお買い上げ日より1ケ年です。
2. 次の修理等は保証期間内であっても有料修理となります。
 - ・ 消耗部品(電池、スピーカー、真空管、フェーダーなど)の交換。
 - ・ お取り扱い方法が不適当のために生じた故障。
 - ・ 天災(火災、浸水等)によって生じた故障。
 - ・ 故障の原因が本製品以外の他の機器にある場合。
 - ・ 不当な改造、調整、部品交換などにより生じた故障または損傷。
 - ・ 保証書にお買い上げ日、販売店名が未記入の場合、または字句が書き替えられている場合。
 - ・ 本保証書の提示がない場合。
3. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
4. お客様が保証期間中に移転された場合でも、保証は引き続きお使いいただけます。詳しくは、お客様相談窓口までお問い合わせください。
5. 修理、運送費用が製品の価格より高くなる場合がありますので、あらかじめお客様相談窓口へご相談ください。発送にかかる費用は、お客様の負担とさせていただきます。
6. 修理中の代替品、商品の貸し出し等は、いかなる場合においても一切行っておりません。

本製品の故障、または使用上生じたお客様の直接、間接の損害につきましては、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

本保証書は、保証規定により無償修理をお約束するためのもので、これよりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

■ お願い

1. 保証書に販売年月日等の記入がない場合は無効となります。記入できないときは、お買い上げ年月日を証明できる領収書等と一緒に保管してください。
2. 保証書は再発行致しませんので、紛失しないように大切に保管してください。

コルグ HAVIAN 30

保証書

本保証書は、上記の保証規定により無償修理をお約束するものです。

お買い上げ日 年 月 日

販売店名



KORG

Address

KORG ITALY SpA
Via Cagiata, 85
I-60027 Osimo (An)
Italy

Web

www.korg.com